

南海トラフ地震および「南海トラフ地震に関連する情報」への対応
：静岡市と高知市の住民アンケート調査より
Social Responses to “Information Relating to the Nankai Trough Earthquake”
：A Questionnaire Survey for Former Residents of Shizuoka and Kouchi City

安本 真也 Shinya YASUMOTO 石濱 陵 Ryo ISHIHAMA
森野 周 Shu MORINO 関谷 直也 Naoya SEKIYA

目 次

1. はじめに
2. 南海トラフ地震に関連する情報
3. アンケート調査の概要
4. アンケート調査結果
 - 4.1 東海地震や南海トラフ地震に関連する情報についての認知率
 - 4.2 ケース1を想定した場合の住民の意識
 - 4.3 ケース2を想定した場合の住民の意識
 - 4.3.1 ケース2を想定した場合に重視する状況
 - 4.3.2 ケース2を想定した場合の住民の意識
 - 4.3.3 避難生活の継続について
 - 4.4 消費行動
 - 4.4.1 物資・備蓄の関係
 - 4.4.2 ガソリン不足
 - 4.4.3 追加的な防災行動
 - 4.5 南海トラフ臨時情報についての意見
- 引用・参考文献
- 付属資料（アンケート調査の単純集計）

キーワード：南海トラフ地震、アンケート調査、避難、備蓄

安本 真也 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 1～4.3
石濱 陵 NHK報道局社会番組部
森野 周 NHK報道局社会部
関谷 直也 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 4.4～4.5

1. はじめに

2017年11月1日から運用が始まった「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ地震が発生する可能性の高まりを評価し、発表されるものである。この情報には定例と臨時の2種類があり、前者は原則として、毎月開催される「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合の調査結果を発表される際に、後者は南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、南海トラフ地震と関連するかどうか調査を開始、または継続している場合に気象庁より発せられる。

その後、2019年5月より「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」と「南海トラフに関連する情報（臨時）」はそれぞれ、「南海トラフ地震関連解説情報」と「南海トラフ地震臨時情報」に名称が変更となった。だが、実質的な内容はほぼ変化がなく、本稿で用いる調査は、前者の名称の段階で行ったものである。そのため、以下では2017年11月1日から運用が始まった「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」と「南海トラフに関連する情報（臨時）」の名称で論ずることとする。

この「南海トラフ地震に関連する情報」が運用開始されたことに伴い、東海地震のみに着目した「東海地震に関連する情報」の発表は行われなかったこととなった。この発表は、内閣総理大臣の「警戒宣言」を発するきっかけであり、それによって国ならびに地震防災対策強化地域の各自治体が地震災害警戒本部を設置するなど、自治体や事業者、住民それぞれ対策が始まることが大規模地震対策特別措置法において定められていた（図1.1）。つまり、情報が発表されることをトリガーに、社会が災害対応モードに切り替わることが事前に定められていたのである。

東海地震に関連する情報（2011年～）

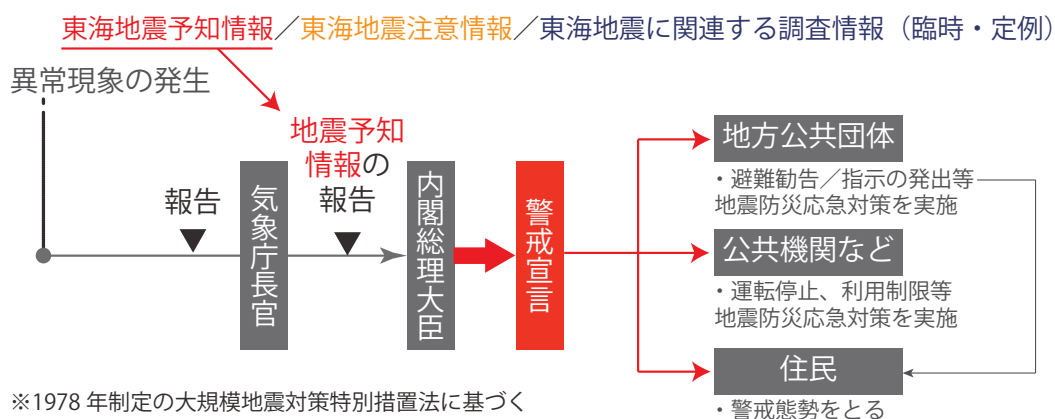


図 1.1 東海地震に関連する情報

それに対し、「南海トラフ地震に関連する情報」に関しては、運用が開始した直後、こうした防災対策との連動が定められておらず、内閣府は国民に対して「今後の備えについて呼びかけを行う」としている程度であった（図 1.2）（内閣府ホームページ，2017a）。そのため、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」を自治体、住民、事業者それぞれがどのように活用すれば良いのか分からなかった。

南海トラフ地震に関連する情報（2017年～）

南海トラフ地震に関連する情報（臨時）／南海トラフ地震に関連する情報（定例）

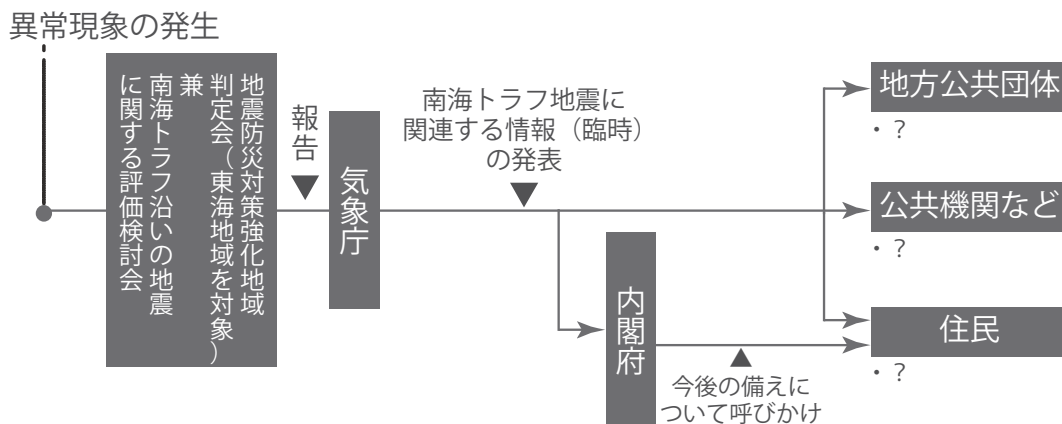


図 1.2 南海トラフ地震に関連する情報

なお、2019年3月には内閣府から「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」が定められ、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された場合、政府から、日頃からの地震への備えを再確認するなどの呼びかけが行われること、また避難対象地域を事前に選定し、1週間を基本として全住民を避難させる場合があることなどが明記された（内閣府ホームページ，2019）。状況は変化したが、後述する調査は、政府からこうした対応が定められていない時点で行われた。本稿は、この「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」という情報だけが発表された場合に、回答者に社会的な状況を想定してもらい、そのうえでどのような対応行動をとるのか、という点に絞った研究である。

2. 南海トラフ地震に関連する情報

この「南海トラフ地震に関連する情報」で重要なのは、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、南海トラフ地震と関連するかどうか調査を開始、または継続している場合に気象庁より発せられる「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」である。南海トラフ沿いで

観測される可能性のある異常な現象のうち、観測される可能性が高く、大規模地震につながる可能性がある典型的な4つのケースが「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」によって整理された(図2.1)(内閣府ホームページ, 2017b)。本稿では、ケース1(南海トラフの東側だけで大規模地震が発生(その後、西側の領域でも連動して大規模地震が発生する可能性が高くなる))ならびにケース2(南海トラフでM7クラスの地震が発生)に焦点をあてる。これらのケースは歴史的な事例からも大規模地震が発生する可能性が高いと考えられているため、これらのケースが発生した場合、「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」が発せられると考えられる。ただし、この情報が発せられたとしても巨大地震が「必ず発生する」というわけではないことに留意する必要がある。

では住民はこうした自身に関する情報が発表された時に、防災対策との連動が定められていない状況では、どのように対応をするのか。住民に対して実施したアンケート調査を通して、明らかにすることとする。

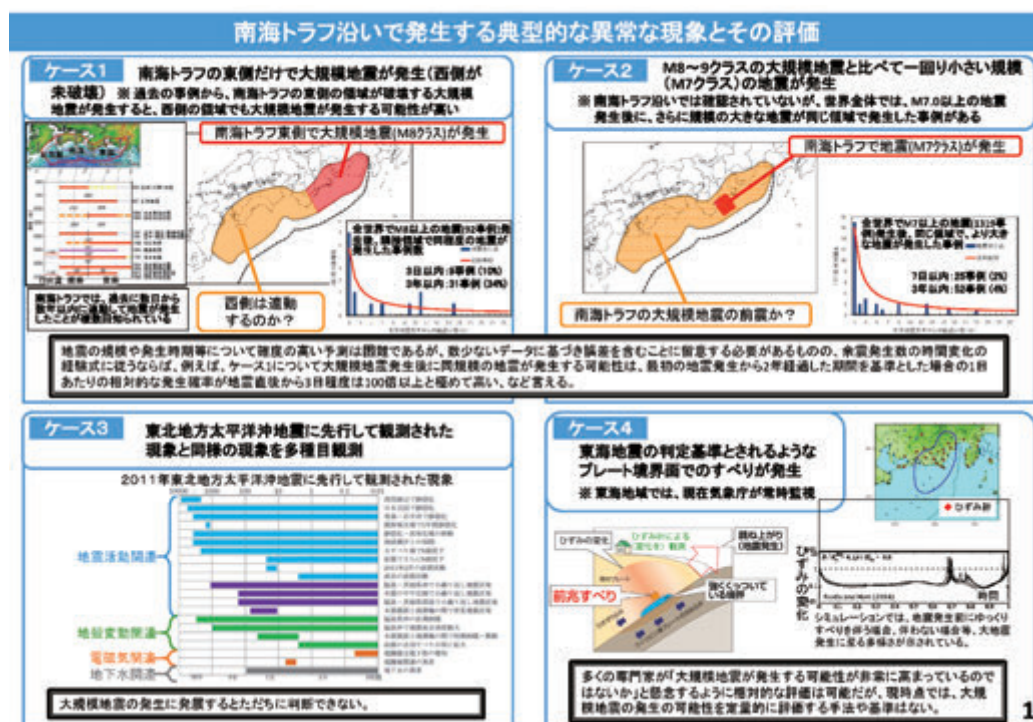


図 2.1 南海トラフ沿いで発生する典型的な異常な現象の4つのケース
(出典: 内閣府ホームページ, 2017b)

3. アンケート調査の概要

調査の概要は表 3.1 の通りである。高知県の沿岸部である高知市、静岡県の沿岸部である静岡市清水区（いずれも浸水深が 5m 以上とされる地点）、ならびに津波のおそれほとんどない内陸部である静岡市葵区の住民を対象として実施した。本稿では、これらの調査結果を、地区別を主として述べることにする。

なお、本稿はアンケート調査結果の結果を、地区ごとのクロス分析を中心に論ずることとする。なお、主要部分に関しては、安本ほか(2020)、安本ほか(2018a)、安本ほか(2018b)、関谷ほか(2018a)、関谷ほか(2018b)にて報告済みである。

表 3.1 調査概要

調査対象	高知市、静岡市清水区、静岡市葵区
調査主体	日本放送協会（NHK）、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター
調査方法	郵送調査（世帯配布）
有効回答	537 標本（回収率 17.9%）
（内 訳）	高 知 市：175 標本（回収率 17.5%） 静岡市清水区：134 標本（回収率 13.4%） 静岡市 葵区：228 標本（回収率 22.8%）
調査期間	2018 年 6 月 29 日～8 月 7 日

4. アンケート調査結果

4.1 東海地震や南海トラフ地震に関連する情報についての認知率

本節では東海地震や南海トラフ地震に関連する情報の認知率について述べる。

第一に、「昨年、平成 29 年 11 月 1 日から、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に、『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表されることになりました。あなたは、このことをご存じでしたか」と問うた結果、認知率は全体では 56.6%であり、地区ごとの差はほとんどみられなかった（図 4.1.1）。

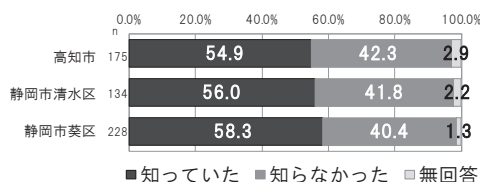


図 4.1.1 南海トラフ地震に関連する情報の認知率 ($\chi^2(2)=0.298$ 、有意差なし)

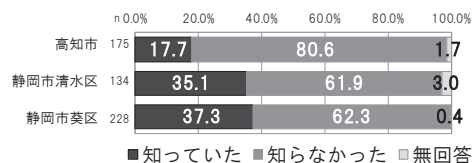


図 4.1.2 東海地震に関連する情報が発表されなくなったことの認知率 ($\chi^2(2)=19.620$ 、 $p<.001$)

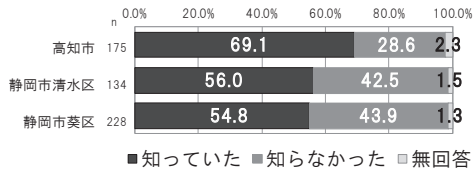


図 4.1.3 過去に南海トラフ沿いで発生した地震の認知率 ($\chi^2(2)=10.592, p<.01$)

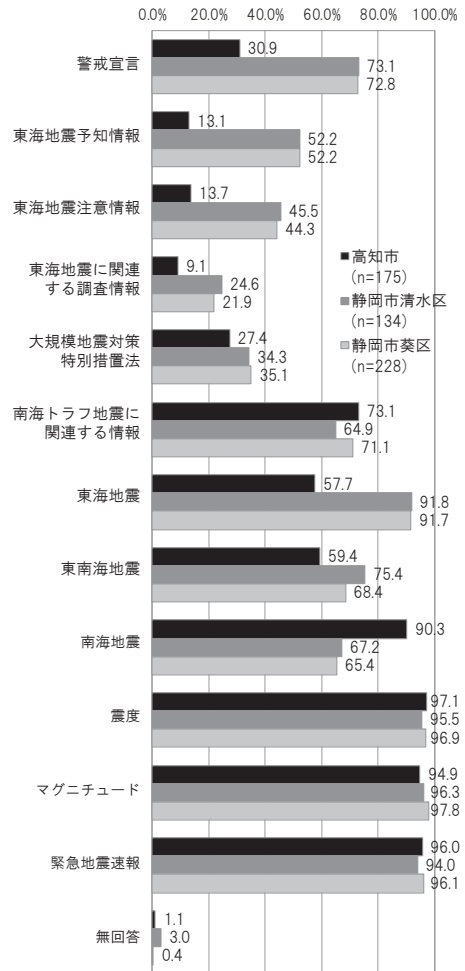


図 4.1.4 地震に関連した用語の認知率

第二に、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」の発表に伴い、東海地震予知情報、東海地震注意情報、東海地震調査情報など、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行わないことになりました。あなたは、このことをご存じでしたか」と問うた結果、全体の 30.4%が「知っていた」と答えた。東海地震と関係が薄い高知市では「知っていた」割合が 17.7%と、3 割以上が「知っていた」と答えた静岡市と比較すると低かった（図 4.1.2）。

第三に、「南海トラフ沿いで過去に発生した地震（東海地震、東南海地震、南海地震）は、数日から数年の時間差で、連続して、あるいは同時に発生しています。あなたは、このことをご存じでしたか」と問うた結果、全体の 59.8%が「知っていた」と答えた。こちらは、

高知市では 69.1%が「知っていた」と答えていた一方で、静岡市では 6 割以下と、比較して低かった（図 4.1.3）。

第四に「あなたは次の言葉を知っていますか」と、地震に関連する用語の認知率を複数回答で問うた結果が図 4.1.4 である。「警戒宣言」などの東海地震に関連する用語は静岡市で高い一方で、南海地震に関連する用語は高知市が高い。

全体として、静岡県は東海地震に、高知県は東南海もしくは南海地震への知識があるといえよう。

4.2 ケース 1 を想定した場合の住民の意識

本節では実際の避難に関する意思を問うた。

まず、回答者に、実際に大規模地震につながる可能性がある典型的な 4 つのケースのうち、ケース 1 の場合を想定してもらった。ケース 1 の説明について、図 4.2.1 を提示した上で、「あなたの居住地域ではない地域側（静岡市の方は南海地震のエリア、高知市の方は東海地震のエリア）で大地震が発生し、震源に近い地域では、揺れや津波により、多くの死者・行方不明者・家屋被害が発生しています。自衛隊や警察、消防が人命救出活動を行っています。鉄道や高速道路なども損壊したため、運休や通行止めになっています。そして、それらがテレビを通じて刻々と報じられています。しかし、あなたの居住地では、被害は発生しておらず、電気、水道などは問題なく使えています」と状況を説明した。

その上で、第一に、「あなたの居住地域に大津波警報が出された場合、あなたは、居住地域に被害がない場合でも、自宅を離れて避難すると思いますか」と問うた。「避難すると思う」と答えたのは全体の 51.8%であった。津波の危険性が考えにくい静岡市葵区でも 36.0%の人が「避難すると思う」と答えている（図 4.2.2）。

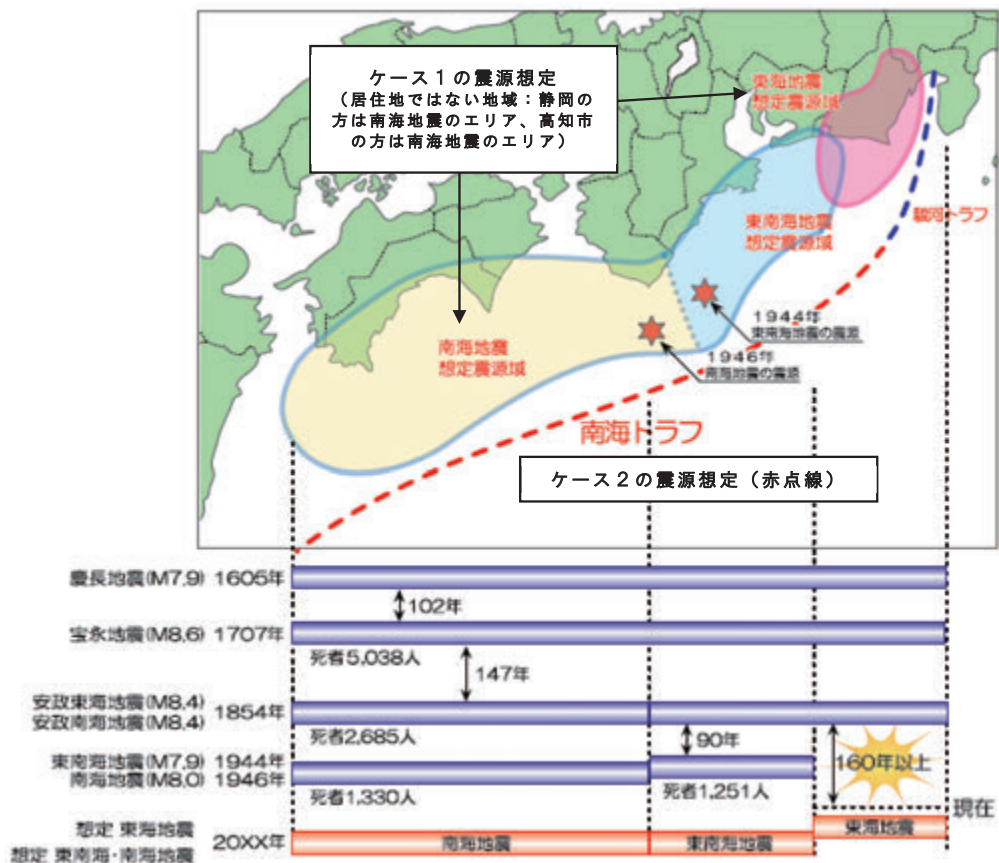


図 4.2.1 質問紙で用いた南海トラフ地震の説明図
(気象庁ホームページ, 2018 に一部加筆)

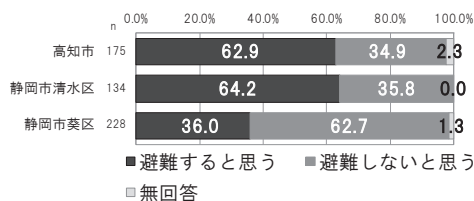


図 4.2.2 大津波警報が出された場合の避難への意思 ($\chi^2(2)=40.176, p<.001$)

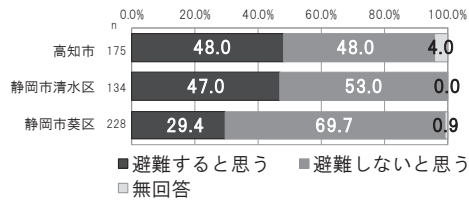


図 4.2.3 ケース1の状況下での避難への意思 ($\chi^2(2)=19.696, p<.001$)

第二に、「南海トラフの東側（もしくは西側）のみで地震が発生した場合、被害を受けていない地域においても、地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして、『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表されることとなります。居住地域に被害

がない場合でも、あなたは、自宅を離れて避難すると思いますか」と問うた。つまり、ケース1の状況における避難への意思を問うた。その結果、「避難すると思う」と答えた人は全体の39.9%であった。地区を比較すると、有意な差がみられた($\chi^2(2) = 19.696, p < .001$)。高知市と静岡市清水区に比べて、静岡市葵区では「避難すると思う」と答える割合が約2割低かった(図4.2.3)。

では「避難すると思う」「避難しないと思う」それぞれの理由はなにか。それぞれの理由に関して、複数回答で問うた結果を地区別で示した結果がそれぞれ、図4.2.4と図4.2.5である。

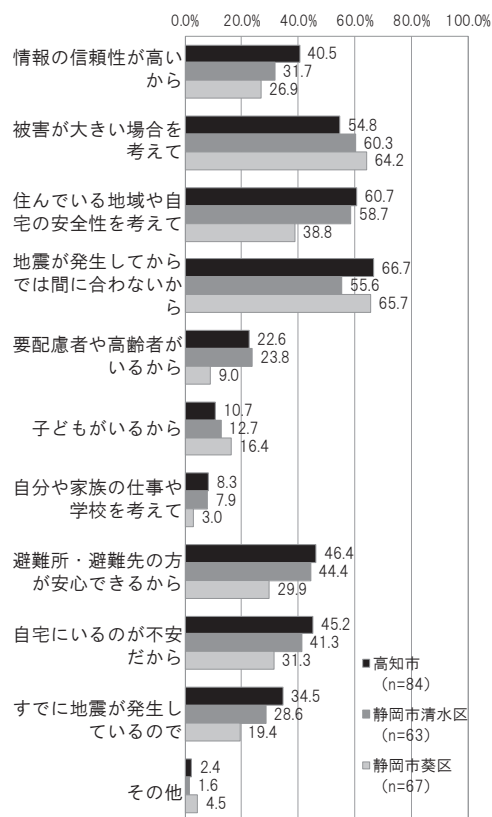


図 4.2.4 ケース1の状況下で避難する理由

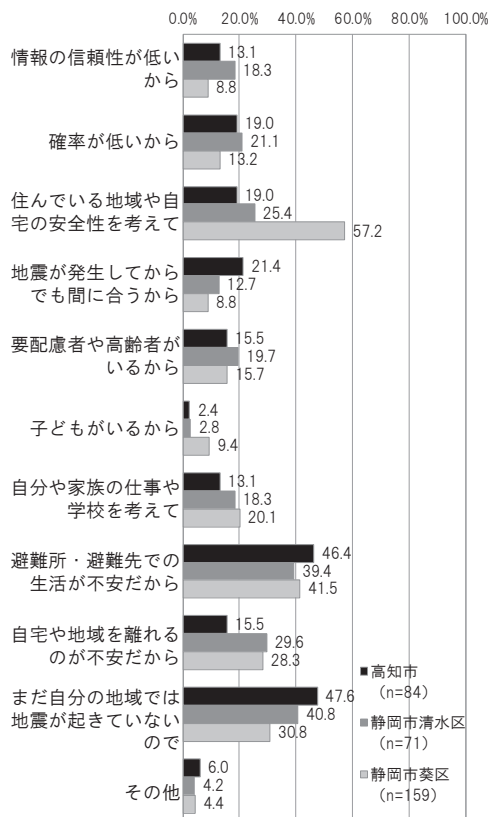


図 4.2.5 ケース1の状況下で避難しない理由

「避難すると思う」と答えた人の理由として最も多かったのは「地震が発生してからでは間に合わないから」であった(全体では63.1%)。つづいて「被害が大きい場合を考えて」(全体では59.3%)、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」(全体では53.3%)であった。「地震が発生してからでは間に合わないから」と「被害が大きい場合を考えて」は全ての地区で高かった一方で、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」のみ、津波のおそれ

がほとんどない内陸部である静岡市葵区では他の2地区と比べて2割程度低かった。

一方で、「避難しないと思う」と答えた人の理由として最も多かったのは「避難所・避難先での生活が不安だから」（全体では42.4%）であった。つづいて「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」（全体では39.8%）、「まだ自分の地域では地震が起きていないので」（全体では37.6%）であった。ただし、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」に関して、静岡市葵区では他の2地区と比べて3割程度高かった。

つまり、津波のおそれがほとんどない内陸部である静岡市葵区の住民は住んでいる地域や自宅が安全と考えている割合が高い。ここから、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発表された場合、住民は避難するか否かのひとつの判断基準として、津波のおそれがあるか否かが大きいということが明らかとなった。

第三に「もし仮に、自分の居住地に地震が起きる前に、長期に避難をすることになった場合、あなたはどこに避難しますか」と問うた結果が図4.2.6である。最も多かったのは「指定された避難所」で、全体の43.0%であった。家族である、「祖父母、父母、子どもなどの家」も19.6%であるが、「わからない」と答える人も21.6%であった。実際に情報が発せられなければわからない人も存在する。なお、この設問に関して、大きな地区ごとの差はみられなかった。さらに、具体的に、避難先の住所を問うているが、高知県の住民は65.7%が高知県内へ、静岡県民は清水区で56.0%、葵区で50.0%の住民が静岡県内へ避難する、と答えていた。

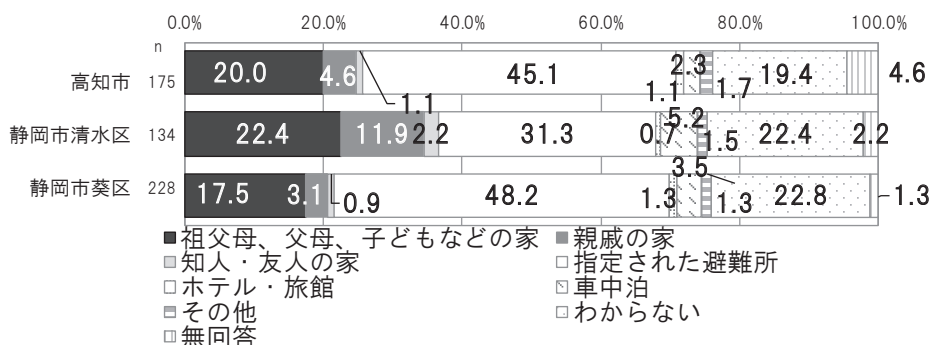


図 4.2.6 ケース 1 の場合の避難先 ($\chi^2(14)=22.897$ 、有意差なし)

4.3 ケース 2 を想定した場合の住民の意識

続いて、実際に大規模地震につながる可能性がある典型的な4つのケースのうち、ケース2の場合を想定してもらった。ケース2の説明について、「南海トラフ沿い（2ページの図¹をご参照ください）でマグニチュード7程度の地震が発生した時（ただし、とくに大き

¹ 図 4.2.1 のこと

な被害は出ていないとします)、その後さらに巨大な地震が南海トラフ全域で発生する可能性があります。そのため、巨大地震が発生する可能性は平常時と比べて相対的に高まったとして、『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表されることとなります」と状況を説明した。

4.3.1 ケース2を想定した場合に重視する状況

ケース2の場合、ケース1と異なり、大規模な津波が発生する可能性が低く、社会機能が維持していると考えられる。そのため、避難に対する意思を問う前に、第一にこの情報が発表されたときに避難するかどうかの判断基準として考えられる社会の状況について、「あなたにとって、『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表されたときに避難するかどうかの判断基準として、下記のことは重要ですか」と重要度を4点尺度で問うた。その結果が図4.3.1から図4.3.7である。

最も「重要である」と答えた割合が高かったのは「避難場所の状況（どんな所へ避難するか）」という項目であった（図4.3.7）。これらのほとんどの項目において地区ごとの有意差はみられなかったが、「周囲の人の避難の状況」に関しては有意差（ $\chi^2(6)=15.227$ 、 $p<.05$ ）がみられ、高知市が静岡市の2地区と比較して高い結果であった（図4.3.1）。

これらの結果から、避難にあたって「周囲の人の避難の状況」「食料の供給の状況」「銀行、ガソリンの供給の状況」といった社会的な状況や「避難場所の状況」が重要であることがわかる。

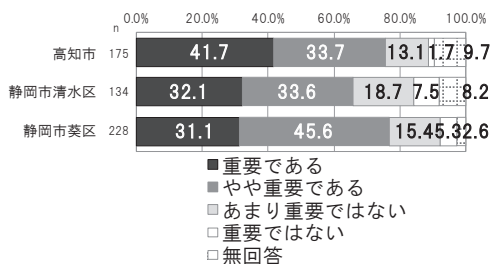


図 4.3.1 周囲の人の避難の状況の重要性
($\chi^2(6)=15.227$ 、 $p<.05$)

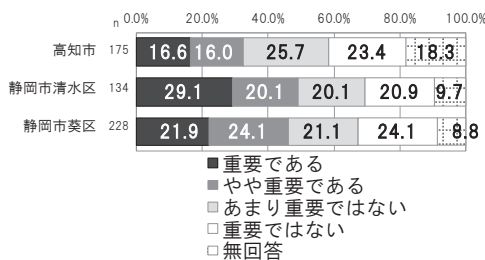


図 4.3.2 仕事の状況の重要性
($\chi^2(6)=9.396$ 、有意差なし)

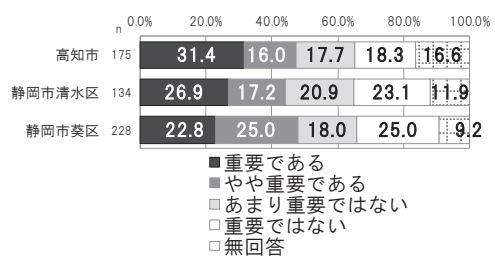


図 4.3.3 家族の学校などの状況の重要性
($\chi^2(6)=9.507$ 、有意差なし)

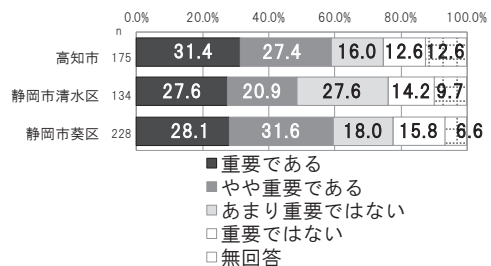


図 4.3.4 病院などの状況の重要性
($\chi^2(6)=10.173$ 、有意差なし)

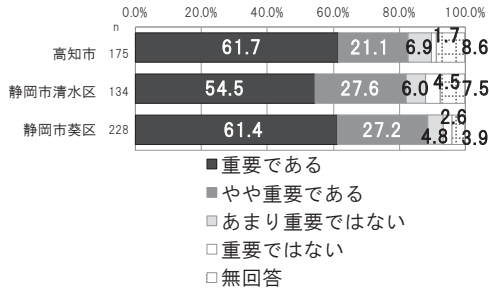


図 4.3.5 食料供給の状況の重要性

($\chi^2(6)=5.290$ 、有意差なし)

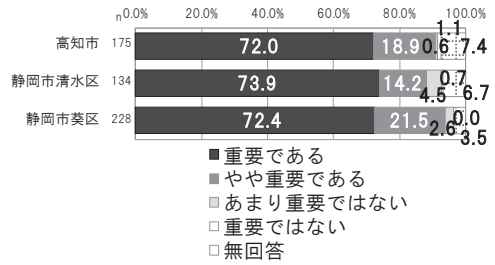


図 4.3.7 避難場所の状況の重要性

($\chi^2(6)=9.611$ 、有意差なし)

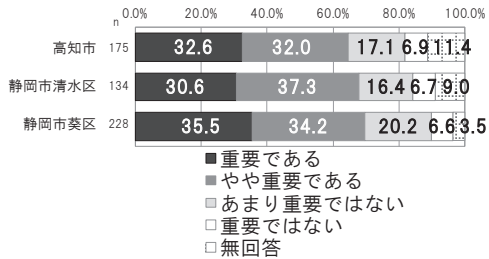


図 4.3.6 銀行、ガソリンの供給の状況の重要性

($\chi^2(6)=1.413$ 、有意差なし)

図 4.3.7

第二に、「あなたにとって、『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表されたときに、避難するかどうかを考える上で、何を重視しますか」と、心理面を問うた。その結果が図 4.3.8 から図 4.3.14 である。

最も「重視する」と答えた割合が高かったのは「災害などで命を落とさないこと」で全体として 93.7%であった。一方で、「重視しない」割合が最も高かったのは「車などの家財道具を守れるかどうか」であった。「重視しない」と「あまり重視しない」を合わせると、全体として 41.9%であった（図 4.3.13）。こちらでも同様に、ほとんどの項目で有意差はみられなかった。

避難を判断する上で、「災害などで命を落とさないこと」は多くの人が重視するが、それ以外でも「自宅や地域から離れないで済むかどうか」「避難生活のストレスや辛さ」といった、避難後の生活が判断において重視されていることが明らかである。

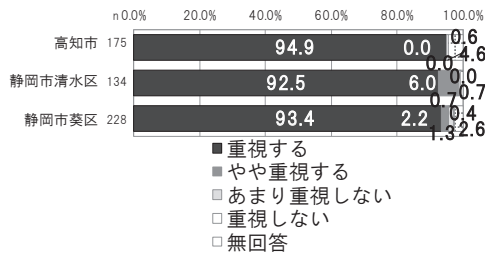


図 4.3.8 災害などで命を落とさないこと
($\chi^2(6)=14.153$, $p<.05$)

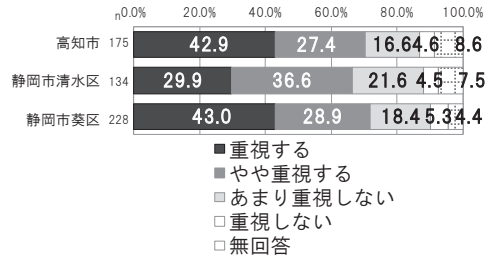


図 4.3.12 自宅や地域から離れないで済むかどうか
($\chi^2(6)=7.752$, 有意差なし)

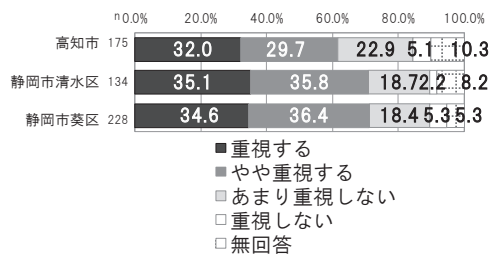


図 4.3.9 仕事、経済面など日々の生活
($\chi^2(6)=4.622$, 有意差なし)

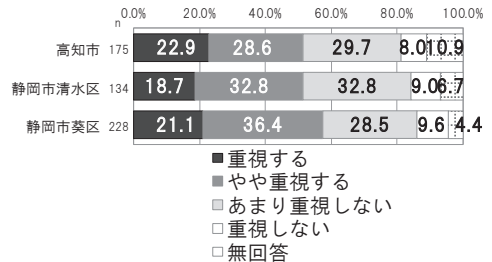


図 4.3.13 車などの家財道具を守るかどうか
($\chi^2(6)=2.888$, 有意差なし)

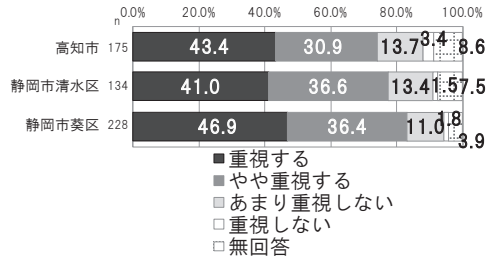


図 4.3.10 避難生活のストレスや辛さ
($\chi^2(6)=3.973$, 有意差なし)

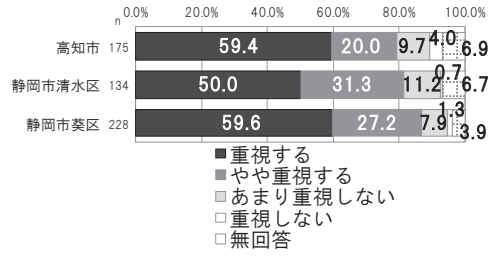


図 4.3.14 どれほどの確率で地震が起きるのか
($\chi^2(6)=11.627$, 有意差なし)

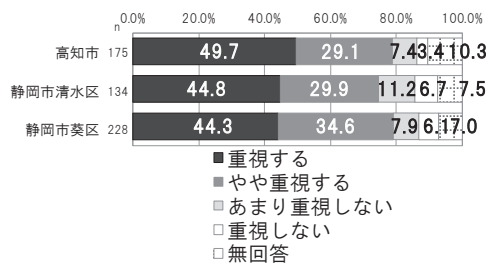


図 4.3.11 子供や高齢者など要援護者の生活
($\chi^2(6)=5.123$, 有意差なし)

第三に、ケース2の状況で「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表され、かつ①「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけるが、市が『自主避難の呼びかけ』や、『避難勧告』を出したりしない場合」、②「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『自主避難』の呼びかけをおこなう場合」、③「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『避難勧告』を出す場合」をそれぞれ想定してもらい、「あなたは、自宅を離れて避難すると思いますか」と問うた結果がそれぞれ、図4.3.15から図4.3.17である。

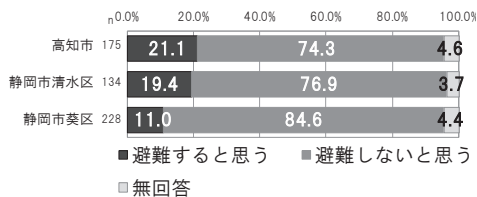


図 4.3.15 気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけるのみ
($\chi^2(2)=8.730$ 、 $p<.05$)

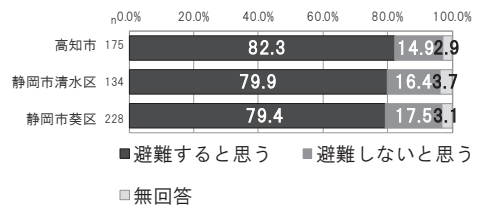


図 4.3.17 市が、「避難勧告」を出す場合
($\chi^2(2)=0.540$ 、有意差なし)

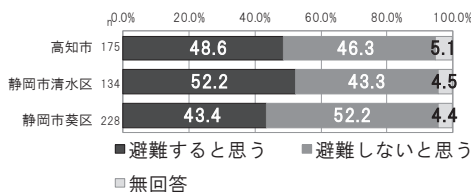


図 4.3.16 市が、「自主避難」の呼びかけをおこなう場合
($\chi^2(2)=3.025$ 、有意差なし)

①「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけるが、市が『自主避難の呼びかけ』や、『避難勧告』を出したりしない場合」、「避難すると思う」と答えたのは全体の16.4%であるが、②「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『自主避難』の呼びかけをおこなう場合」、「避難すると思う」と答えた人は全体の47.3%に、さらに③「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『避難勧告』を出す場合」、「避難すると思う」と答えた人は全体の80.4%にまで上昇する。つまり、市（地方自治体）が避難に関して言及しない場合よりも市（地方自治体）が「自主避難」の呼びかけを行う場合、さらに市（地方自治体）が「避難勧告」を発する場合に「避難すると思う」と答える人の割合が高くなる

さらに、地区ごとの差をみた場合、①「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高

くなったと呼びかけるが、市が『自主避難の呼びかけ』や、『避難勧告』を出したりしない場合」には有意な地区ごとの差が生じるが ($\chi^2(2)=8.730, p<.05$)、②「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『自主避難』の呼びかけをおこなう場合」、と③「気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、『避難勧告』を出す場合」のように、市（地方自治体）が避難に関して言及すると、有意な地区ごとの差がなくなる。

これらの点から、市（地方自治体）の発する避難に関する情報は重要であることがいえる。実際に避難するか否かは当然、その時の状況によって変化するであろうが、市（地方自治体）の発する避難に関する情報によって、住民の避難への意思は大きく変化することが明らかになった。

4.3.2 ケース2を想定した場合の住民の意識

以上を踏まえた上で、第一に、改めて、「様々な場合を考えて、南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生し（ただし大きな被害はまだ出ていない）、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして『南海トラフ地震に関連する情報（臨時）』が発表された場合、居住地域に被害がない場合でも、あなたは自宅を離れて避難すると思いますか」と問うた。その結果、「避難すると思う」と答えたのは全体で46.4%であった（図4.3.18）。さらに地区を比較すると、有意な差がみられた ($\chi^2(2)=24.315, p<.001$)。いずれの地区でもケース1と比較して「避難すると思う」と答える割合が多くなった。ケース1と同様に、高知市と静岡市清水区に比べて、静岡市葵区では「避難すると思う」と答える割合が低かった。

では4章2節と同様に、「避難すると思う」「避難しないと思う」それぞれの理由はなにか。それぞれの理由に関して、複数回答で問うた結果を地区別で示した結果がそれぞれ、図4.3.19と図4.3.20である。

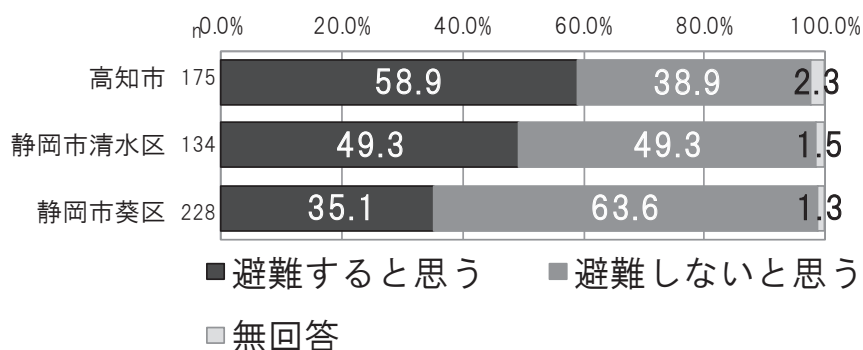


図 4.3.18 ケース2の状況下での避難への意思 ($\chi^2(2)=24.315, p<.001$)

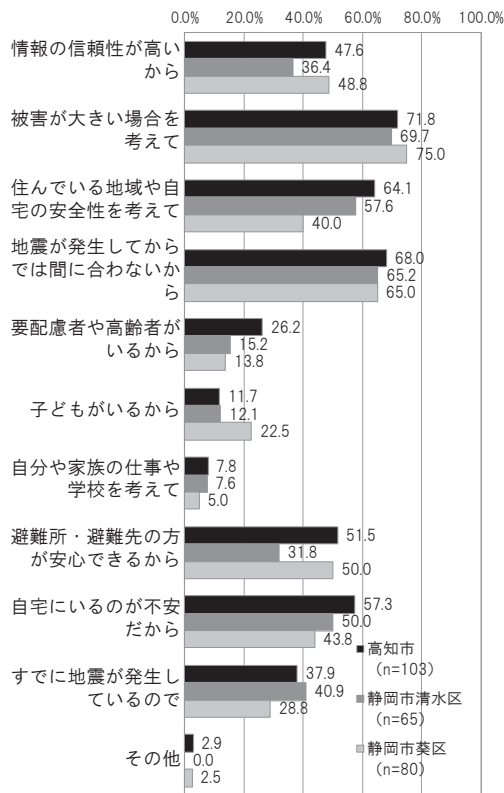


図 4.3.19 ケース 2 の状況下で避難する理由

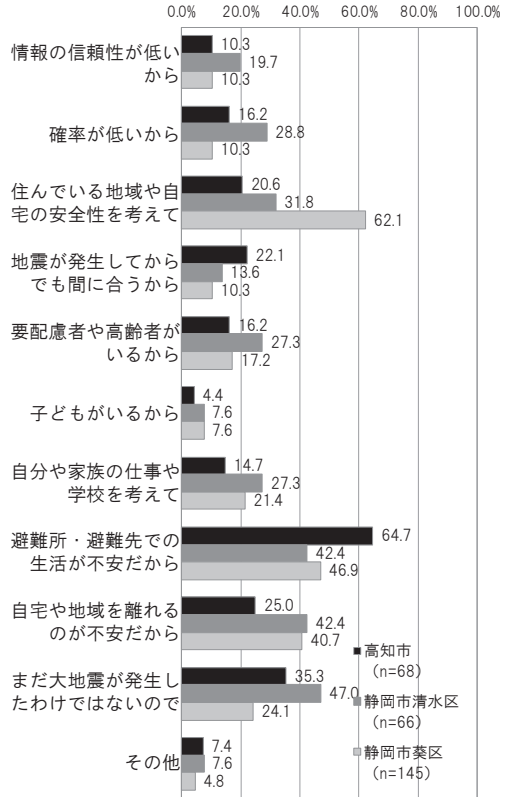


図 4.3.20 ケース 2 の状況下で避難しない理由

「避難すると思う」と答えた人の理由として最も多かったのはケース 1 と異なり (図 4.2.4)、「被害が大きい場合を考えて」(全体では 72.3%)であった。つづいて「地震が発生してからでは間に合わないから」(全体では 66.3%)、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」(全体では 54.6%)であった。「被害が大きい場合を考えて」「地震が発生してからでは間に合わないから」は全ての地域で高かった一方で、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」のみ、ケース 1 と同様に、内陸部である静岡市葵区では他の 2 地区と比べて 2 割程度低かった。

一方で「避難しないと思う」と答えた人の理由として最も多かったのは「避難所・避難先での生活が不安だから」(全体では 50.2%)であった。つづいて「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」(全体では 44.8%)、「自宅や地域を離れるのが不安だから」(全体では

37.2%)、「まだ大地震が発生したわけではないので」(全体では 32.3%)であった。「避難所・避難先での生活が不安だから」は高知市が他の 2 地区と比較して、2 割程度高かった。また、「住んでいる地域や自宅の安全性を考えて」は、静岡市葵区では他の 2 地区と比べて非常に高かった。

第二に、ケース 1 と同様に「南海トラフ沿いでマグニチュード 7 程度の地震が発生し(ただし大きな被害はまだ出ていない)、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして『南海トラフ地震に関連する情報(臨時)』が発表された場合、もし仮に、避難するとしたら、あなたはどこに避難しますか」と問うた結果が、図 4.3.21 である。最も多かったのは「指定された避難所」で、全体の 60.0%であった。ケース 1 の時と比較して、この項目が 14.7%上昇している(図 4.2.6 参照)。なお、この設問に関して、地区ごとの差はみられなかった。さらに、具体的に、避難先の住所を問うているが、高知県の住民は 78.9%が高知県内へ、静岡県民は清水区で 61.9%、葵区で 58.3%の住民が静岡県内へ避難する、と答えていた。

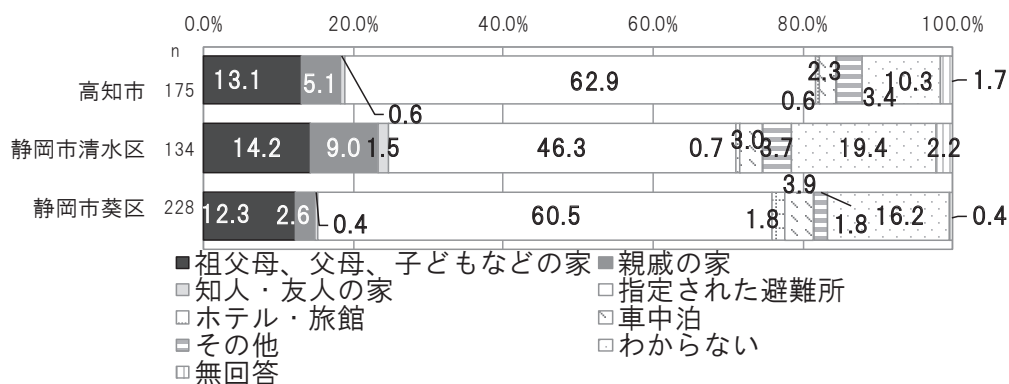


図 4.3.21 ケース 2 の場合の避難先
($\chi^2(14) = 20.937$ 、有意差なし)

第三に、避難先までの避難の手段を問うた。その結果が図 4.3.22 である。

最も多かったのは「自転車・徒歩」で、全体の 55.3%であった。つづいて「自家用車・タクシー」で全体の 33.1%であった。多くの人が自動車を使って避難をすることから、避難にあたっては渋滞が考えられる。地区ごとにみると、「自転車・徒歩」が静岡市葵区では他の 2 地区と比較して約 1 割程度高く、「自家用車・タクシー」は逆に、他の 2 地区と比較して 15%程度低かった。

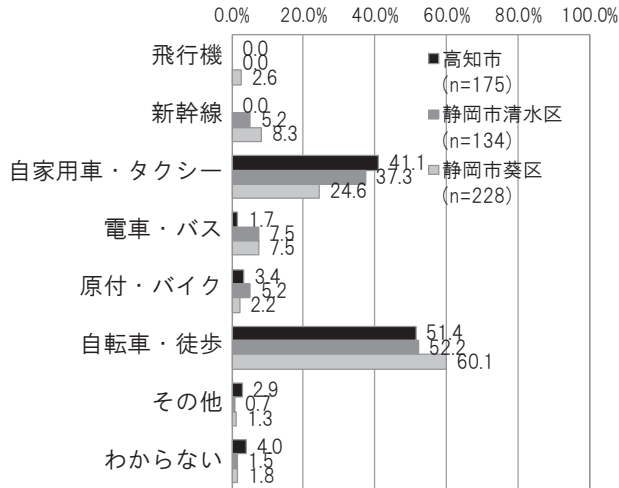


図 4.3.22 避難先への避難手段

4.3.3 避難生活の継続について

「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」は下記のいずれかに該当する場合に発表する、とされている(気象庁ホームページ)。

1. 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合。
2. 観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合。
3. 南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合。

ただし、この情報が発せられたとしても、どの程度の期間、防災対応が必要かはわからない(なお、2018年12月には発表された南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応検討ワーキンググループの「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応のあり方について(報告)」の報告書においては、1週間をめどとして、警戒レベルをあげた防災対応をとることが基本とされた(内閣府ホームページ, 2018)。ただし、このアンケートを実施した時点でこれらの議論はまとまっていなかった)。そのため、例え避難したとしても、避難生活をいつまで継続するのか判断が難しい。

そこで、ケース2の状況で「南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生し(ただし大きな被害はまだ出ていない)、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」が発表された場合、もし仮に、避難するとしたら、あなたはどの程度の期間なら避難を続けられると思います

か」と問うた。その結果が表 4.3.1 の通りである。6 割以上の人が 1 週間以内と答えており、「分からない」と答える人も全体では 17.5%いた。

表 4.3.1 避難が可能な期間

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
高知市	175	5.1%	6.9%	26.3%	1.7%	6.3%	1.1%	19.4%	-	-
静岡市清水区	134	3.0%	6.0%	22.4%	1.5%	8.2%	0.7%	17.9%	-	-
静岡県葵区	228	2.6%	4.8%	23.2%	2.2%	4.4%	0.9%	21.9%	-	-
	n	10日	2週間程度	3週間程度	1か月程度	2か月程度	3か月程度	その他	わからない	無回答
高知市	175	3.4%	3.4%	-	1.1%	-	0.6%	1.7%	20.6%	2.3%
静岡市清水区	134	4.5%	10.4%	-	6.0%	0.7%	1.5%	1.5%	13.4%	2.2%
静岡県葵区	228	7.0%	5.3%	0.9%	5.3%	0.4%	0.9%	0.9%	17.5%	1.8%

次に、発表される、南海トラフ地震の発生確率によって、避難を継続するか否かの割合がどの程度変化するかをみるために、「南海トラフ地震の発生確率が『10%程度』と言われたら、避難を続けますか」と「南海トラフ地震の発生確率が『2%程度』と言われたら、避難を続けますか」と問うた。その結果が図 4.3.23 ならびに図 4.3.24 である。

「南海トラフ地震の発生確率が『10%程度』と言われた」場合に「避難を続けると思う」と答えた人は全体の 11.7%であった。特に津波の恐れが低い、清水市葵区が 7.9%と低かった。また、「南海トラフ地震の発生確率が『2%程度』と言われた」場合に「避難を続けると思う」と答えた人は全体の 3.7%である。このことから、避難継続への意思は確率表現によって変化するといえよう。

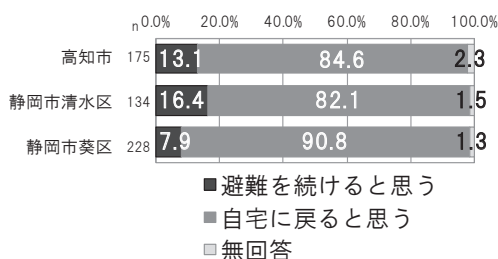


図 4.3.23 南海トラフ地震の発生確率が「10%程度」と言われた場合
($\chi^2(2)=6.502$ 、 $p<.05$)

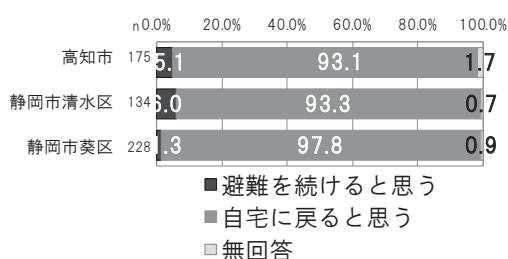


図 4.3.24 南海トラフ地震の発生確率が「2%程度」と言われた場合
($\chi^2(2)=6.584$ 、 $p<.05$)

次に、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合の、社会の様々な状況を想定し、アンケートを行った。ただし、今度は「避難する（継続する）」か「避難しない（継続しない）」の二択で問うた。その結果が図 4.3.25 から図 4.3.30 である。「周囲の多くの人が避難している場合」に「避難する（避難を継続する）」と答える人が全

体の79.9%と多かった。また、状況によって「避難する（避難を継続する）」と思う」と答える人に差がみられた。

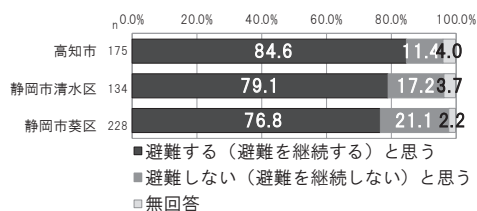


図 4.3.25 周囲の多くの人が避難している場合
($\chi^2(2)=6.155$ 、 $p<.05$)

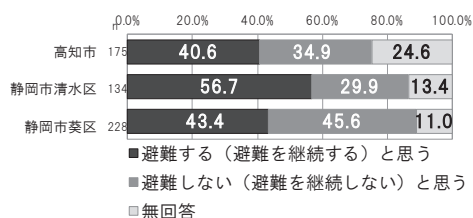


図 4.3.26 自分や家族の通う学校や周囲の学校が休みになった場合
($\chi^2(2)=2.818$ 、有意差なし)

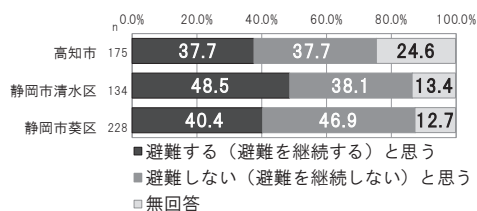


図 4.3.27 自分や家族の仕事が休みになった場合
($\chi^2(2)=8.395$ 、 $p<.05$)

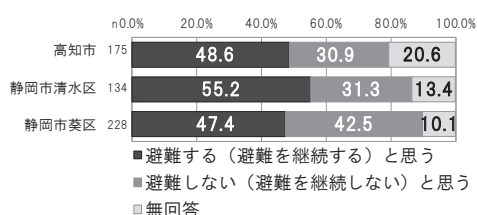


図 4.3.28 近くの病院・デイケア施設などが閉鎖することになった場合
($\chi^2(2)=4.545$ 、有意差なし)

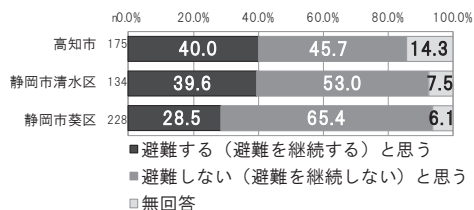


図 4.3.29 食料の確保などに関して不安がない場合
($\chi^2(2)=11.133$ 、 $p<.01$)

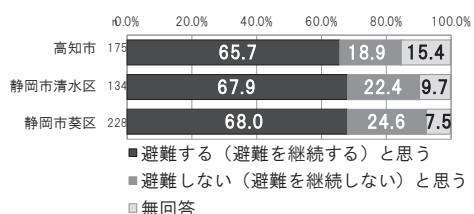


図 4.3.30 銀行・商店が営業をやめたり、ガソリンの入手が難しくなったりして、生活が難しくなるような場合
($\chi^2(2)=0.840$ 、有意差なし)

さらに、逆に「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されても、世の中の反応が大したことがない場合を想定してもらい、「避難する（継続する）」か「避難しない（継続しない）」の二択でアンケートを実施した。その結果が下記の図 4.3.31 から図 4.3.36 である。こちらも「周囲の多くの人が避難していない場合」に「避難しない（避難を継続し

ない」と思う人が全体の85.8%と多かった。また、「避難する（避難を継続する）」時と比べて、いずれの項目においても「避難しない（避難を継続しない）」と思う」と答える人が7割以上と非常に多い。

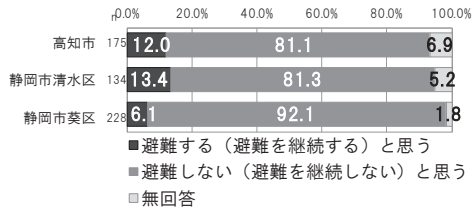


図 4.3.31 周囲の多くの人が避難していない場合
 $(\chi^2(2)=7.209, p<.05)$

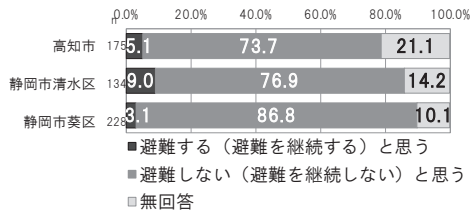


図 4.3.32 自分や家族の仕事が休みではない場合
 $(\chi^2(2)=6.383, p<.05)$

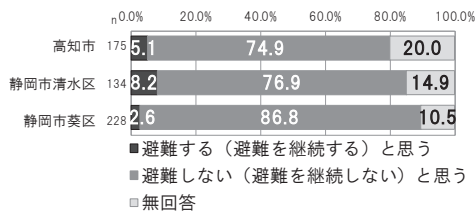


図 4.3.33 自分や家族の通う学校や周囲の学校が休みではない場合
 $(\chi^2(2)=6.358, p<.05)$

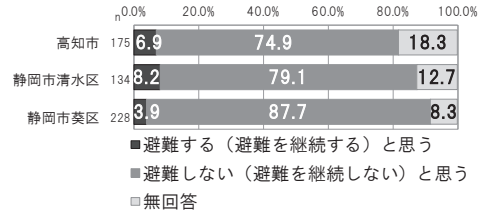


図 4.3.34 近くの病院・デイケア施設などが閉鎖していない場合
 $(\chi^2(2)=3.860, \text{有意差なし})$

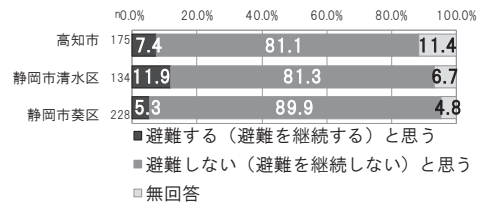


図 4.3.35 食料などが十分手に入る場合
 $(\chi^2(2)=5.544, \text{有意差なし})$

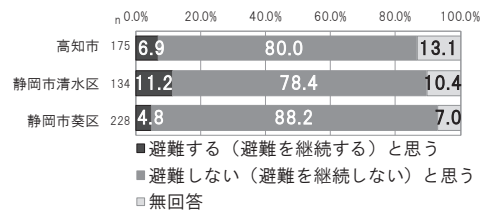


図 4.3.36 銀行・商店の営業、ガソリンの供給など、生活面に問題がない場合
 $(\chi^2(2)=5.662, \text{有意差なし})$

これらを比較すれば分かるように、世の中の反応が「あまり大したことがない」ように感じられた場合には、「避難しない（避難を継続しない）」と思う」とする人が圧倒的に多くなる。避難判断として「避難場所の状況（どんな所へ避難するか）」という項目が重要であった一方で、避難を継続するかは周囲の状況に依存していることが明らかになった。

4.4 消費行動

4.4.1 物資・備蓄の関係

(1) 地震後の関心事

南海トラフが発生し、被災後に困ることとして挙げてもらったところ、「水道」「水・食料の不足」「停電」などが上位にあがり、地震で被災すること一火災、けが・負傷—などよりも、そのあとの避難生活に目が向いていた（表 4.4.1）。そのため、まず行われることは物資購入である。

表 4.4.1 南海トラフ地震で被災した場合、不安に思うこと

	全体 (N=537)	高知市 (N=175)	静岡市清水区 (N=134)	静岡市葵区 (N=228)
水道が使えない	86.2 %	81.1 %	82.1 %	92.5 %
水・食料の不足	79.1 %	83.4 %	70.1 %	81.1 %
停電	78.2 %	73.7 %	72.4 %	85.1 %
地震で被災すること	68.2 %	68.0 %	59.0 %	73.7 %
ガスが使えない	56.1 %	44.0 %	56.0 %	65.4 %
津波で被災すること	53.1 %	81.7 %	83.6 %	13.2 %
医療	52.9 %	48.6 %	52.2 %	56.6 %
救援物資が届かない	49.2 %	49.7 %	47.0 %	50.0 %
火災	47.3 %	29.1 %	40.3 %	65.4 %
お金がかかる	39.5 %	40.6 %	44.0 %	36.0 %
帰宅困難	37.1 %	38.3 %	41.0 %	33.8 %
液状化	36.7 %	26.3 %	42.5 %	41.2 %
長期間、自宅が浸水すること	29.8 %	38.9 %	50.0 %	11.0 %
行政サービスのストップ	27.0 %	24.0 %	27.6 %	28.9 %
インターネットが使えない	25.1 %	16.0 %	23.1 %	33.3 %
介護	16.8 %	16.9 %	14.9 %	17.8 %
土砂崩れ	12.1 %	30.2 %	4.5 %	2.7 %
鉄道が動かない	8.0 %	1.1 %	13.4 %	10.1 %

「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、多くの人が水や食料を追加購入すると答えている（図 4.4.1）。しかも、平均 6 日分程度の追加の水や食料を購入すると答えている（高知県では 5.8 日、静岡市清水区では 5.5 日、静岡市葵区では 6.3 日分）。食料品の供給は平時の日々の分しか供給されていないのだから、多くの人が平時より、少し多く追加的に購入しようとするれば、「パニック」的な行動をとらなかったとしても、モノ不足に陥ることは明白である。

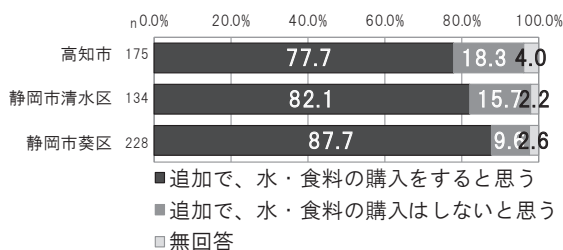


図 4.4.1 もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、追加で水や食料の購入を行うと思うか

(2) 南海トラフ臨時情報と食料、消費財の購入

基本的に、多くの人々が食料を一定程度、家においてあり、また非常食などの備蓄も所持している（表 4.4.2、表 4.4.3）。だが、それも限られている。ゆえに、多くの人々が、情報の発表後、追加で物資を購入すると言っている（表 4.4.4、表 4.4.5）。

もちろん実際に購入できるかどうか不明であるし、少なくともそれらの行動自体が混乱を生むことは間違いないだろう。

表 4.4.2 備蓄の有無

	高知市 (n=175)	静岡市清水区 (n=134)	静岡市葵区 (n=228)
(1) 米やパンなどの主食	78.3%	85.1%	86.4%
(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品	72.6%	70.9%	71.5%
(3) インスタント食品・冷凍食品	79.4%	82.1%	84.6%
(4) 非常食	40.6%	60.4%	63.2%
(5) ティッシュやトイレトペーパーなどの日用品	84.0%	93.3%	94.3%
(6) 飲料水	70.3%	80.6%	84.2%

表 4.4.3 何日分の備蓄があるか

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
(1) 米やパンなどの主食	14.2日	10.9日	9.6日
(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品	3.8日	2.8日	3.6日
(3) インスタント食品・冷凍食品	5.1日	4.1日	4.4日
(4) 非常食	4.5日	3.7日	3.9日
(5) ティッシュやトイレトペーパーなどの日用品	17.4日	14.9日	14.6日
(6) 飲料水	5.2日	5.7日	6.0日

表 4.4.4 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、
下記のことを新たに又は追加で購入すると思うか

	高知市 (n=175)	静岡市清水区 (n=134)	静岡市葵区 (n=228)
(1) 米やパンなどの主食	50.9%	68.7%	67.1%
(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品	45.1%	54.5%	52.6%
(3) インスタント食品・冷凍食品	77.7%	78.4%	80.7%
(4) 非常食	66.9%	72.4%	79.4%
(5) ティッシュやトイレトペーパーなどの日用品	45.1%	57.5%	53.9%
(6) 飲料水	75.4%	79.1%	85.1%

表 4.4.5 何日分くらいを追加購入するか（それぞれ追加購入するという人のみ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
(1) 米やパンなどの主食	9.2日	7.1日	8.6日
(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品	5.4日	4.4日	4.7日
(3) インスタント食品・冷凍食品	8.3日	7.6日	7.7日
(4) 非常食	7.6日	7.4日	7.8日
(5) ティッシュやトイレトペーパーなどの日用品	13.4日	10.1日	10.9日
(6) 飲料水	9.0日	7.8日	8.7日

(3) 南海トラフ臨時情報と防災用品（耐久財）の購入

防災用品（耐久財）について、①現在、「自宅にあるもの」と、②「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、新たに又は追加で購入するものがあるかどうか聞いた。結果、多くの家において、「懐中電灯」「ラジオ」「救急医療品（ばんそうこう、包帯など）」「カセットコンロなど調理器具」「使い捨てカイロなど防寒用品」「充電器」「その他防災グッズ」は多くすでに購入されているものの、追加的な購入が行われることが分かった。（図 4.4.2）。

南海トラフ地震に関連する情報が出された後になると、多くの人が災害について警戒し、予防的行動をとろうとするため、多くの場合、物資が購入できないと考えられる。これについてあらかじめ周知しておくことが必要であろう。

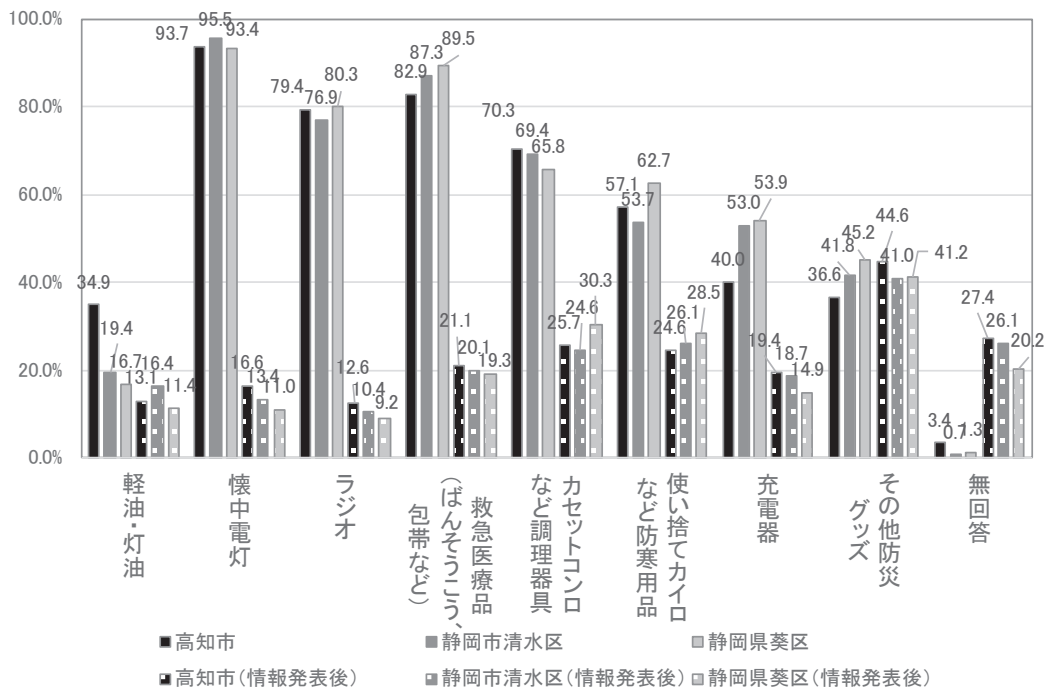


図 4.4.2 現在、「自宅にあるもの」、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、新たに又は追加で購入するもの

4.4.2 ガソリン不足

東日本大震災でも長期間、東北地方ではガソリン不足に陥ったが、南海トラフ関連情報によって、これはどうなるであろうか。

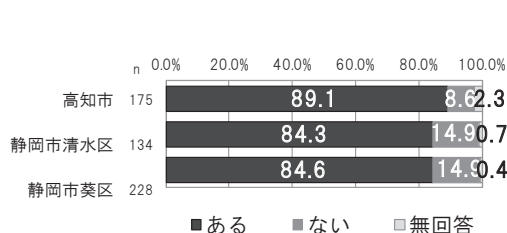


図 4.4.3 車所有の有無
($\chi^2(2)=3.978$ 、有意差なし)

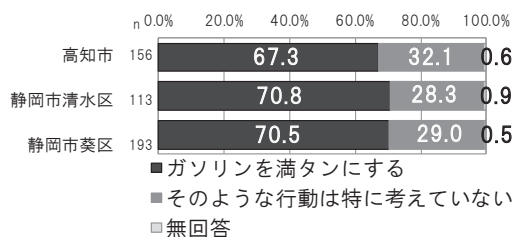


図 4.4.4 図 3.5.25 ガソリンの追加購入について
($\chi^2(2)=0.547$ 、有意差なし)

全体の 86.0%が平均 1.74 台の車を所有している (図 4.4.3)。そして多くの人が避難などに用いるため、またいざというときの避難に備えてガソリンの購入も行われる。約 7 割の人が「南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)」が発表された場合、避難などに備えてガソリンを満タンにすると答えている (図 4.4.4)。実際に、これらの結果、ガソリンは不足すると考えられる。

4.4.3 追加的な防災行動

南海トラフ巨大地震の情報提供によって、具体的な行動として、防災面でプラスの側面にはどのようなものがあるだろうか。

(1) 家具固定

現状でも家具固定が不十分な家庭は多いが (図 4.4.5)、これについて情報を受けて、若干の追加的な家具固定が行われる (図 4.4.6)。

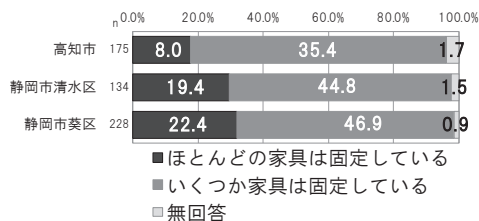


図 4.4.5 家具の固定状況について
($\chi^2(4)=32.909$ 、 $p<.001$)

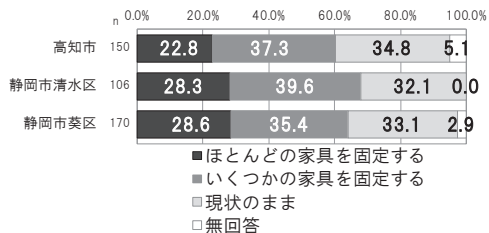


図 4.4.6 情報発表後の家具の固定への意識
($\chi^2(4)=1.547$ 、有意差なし)

(2) 避難場所や避難経路の確認

現状でも避難場所や避難経路の確認は行われているが、南海トラフ地震に関連する情報を受けて、若干の追加的な避難場所や避難経路の確認が行われる(図4.4.7)。これは、明白なプラスの側面とってよいであろう。



図 4.4.7 情報発表後の避難場所や避難経路の確認

4.5 南海トラフ臨時情報についての意見

この南海トラフ臨時情報については、人々にとっては「欲しい情報」であると同時に、まだ「どう活用すればよいかかわわからない情報」でもある。

『空振り』しても構わないので、南海トラフ地震に関連する情報は適宜、公表してほしい(68.3%)」「命にかかわる情報なので、どんな情報も提供してほしい(55.7%)」など、より積極的に活用して行こうという考えに同意する人は多い。

だが、一方、『地震が発生する可能性がある』とはいっても、その発生確率が分からないと判断しにくい(49.0%)」「地域の中で生活が営めなくなるのではないかと思う(32.4%)」「どうせ被害をうけるから、積極的な対策はとらない(17.5%)」「『避難するかしないかは自己責任で考えろ』というのは間違っていると思う(15.6%)」「確率が低い情報は出さないでほしい(15.5%)」と、混乱をもたらしている情報であることも事実である(表4.5.1)。

これから、この南海トラフ臨時情報をより多くの人命を救うための情報としていくのに、これらの意見を踏まえて考えていく必要がある。

表 4.5.1 南海トラフ臨時情報についての意見

	全体 (N=537)	高知市 (N=175)	静岡市清水区 (N=134)	静岡県葵区 (N=228)
「空振り」しても構わないので、南海トラフ地震に関連する情報は適宜、公表してほしい	68.3 %	66.9 %	70.1 %	68.4 %
命にかかわる情報なので、どんな情報も提供してほしい	55.7 %	54.3 %	56.0 %	56.6 %
「地震が発生する可能性がある」とはいつでも、その発生確率が分からないと判断しにくい	49.0 %	40.6 %	48.5 %	55.7 %
地域の中で生活が営めなくなるのではないかと思う	32.4 %	40.6 %	38.8 %	22.4 %
どうせ被害をうけるから、積極的な対策はとらない	17.5 %	26.3 %	14.9 %	12.3 %
「避難するかしないかは自己責任で考える」というのは間違っていると思う	15.6 %	20.6 %	13.4 %	13.2 %
確率が低い情報は出さないでほしい	15.5 %	15.4 %	15.7 %	15.4 %
長期的に今いる地域を離れることを検討する	12.8 %	10.3 %	17.9 %	11.8 %
その他	2.0 %	1.1 %	3.0 %	2.2 %

引用・参考文献

気象庁ホームページ, 2018,

http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tokai/tokai_eq2.html (現在参照不可)

気象庁ホームページ, 南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件, (参照年月日: 2018年8月5日),

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/info_criterion.html

内閣府ホームページ, 2017a, 「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際の政府の対応について, (参照年月日: 2018年8月5日),

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/nankai_taiou.pdf

内閣府ホームページ, 2017b, 「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」の検討状況について, (参照年月日: 2018年8月5日),

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/tyosabukai_wg/pdf/h290721houkoku_sanko_shiryo02.pdf

内閣府ホームページ, 2018, 南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応のあり方について(報告), (参照年月日: 2020年1月7日),

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/pdf/h301225honbun.pdf

内閣府ホームページ, 2019, 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】(令和元年5月一部改訂), (参照年月日: 2019年6月29日),

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/honbun_guideline.pdf

関谷直也・安本真也・石濱陵・森野周, 2018a, 「南海トラフ地震に関連する情報」における避難意図と状況依存, 日本災害情報学会第20回学会大会(日本災害情報学会20周年記念大会・日本災害復興学会10周年記念大会合同大会), 東京大学本郷キャンパス, 2018年10月28日.

関谷直也・安本真也・石濱陵・森野周, 2018b, 「南海トラフ地震に関連する情報」の社会的影響, 日本災害情報学会第20回学会大会(日本災害情報学会20周年記念大会・日本災害復興学会10周年記念大会合同大会), 東京大学本郷キャンパス, 2018年10月27日.

安本真也・石濱陵・森野周・関谷直也, 2018a, 「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応一避難に対する意識に着目して一, 日本災害情報学会第20回学会大会(日本災害情報学会20周年記念大会・日本災害復興学会10周年記念大会合同大会), 東京大学本郷キャンパス, 2018年10月28日.

安本真也・石濱陵・森野周・関谷直也, 2018b, 「南海トラフ地震に関連する情報」に対する住民の対応一静岡市と高知市の地区比較より一, 日本災害情報学会第20回学会大会(日本災害情報学会20周年記念大会・日本災害復興学会10周年記念大会合同大会), 東京大学本郷キャンパス, 2018年10月27日.

安本真也・石濱陵・森野周・関谷直也，2020，「南海トラフ地震に関連する情報」に対する
住民の反応，災害情報 No. 18，（印刷中）.

付属資料（アンケート調査の単純集計）

※なお、ここでの回答は、注釈がない限りは高知市の住民（n=175）、静岡市清水区の住民（n=134）、静岡市清水区の住民（n=228）の集計結果を記している。

南海トラフ地震および南海トラフに関連する情報に関する調査

A. まず、東海地震や南海トラフ地震に関連する情報についてお伺いします。

問1 昨年、平成29年11月1日から、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合に、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されることになりました。あなたは、このことをご存じでしたか。（○は1つ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 知っていた	54.9%	56.0%	58.3%
2. 知らなかった	42.3%	41.8%	40.4%
無回答	2.9%	2.2%	1.3%

問2 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」の発表に伴い、東海地震予知情報、東海地震注意情報、東海地震調査情報など、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行わないことになりました。あなたは、このことをご存じでしたか。（○は1つ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 知っていた	17.7%	35.1%	37.3%
2. 知らなかった	80.6%	61.9%	62.3%
無回答	1.7%	3.0%	0.4%

問3 南海トラフ沿いで過去に発生した地震（東海地震、東南海地震、南海地震）は、数日から数年の時間差で、連続して、あるいは同時に発生しています。あなたは、このことをご存じでしたか。（○は1つ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 知っていた	69.1%	56.0%	54.8%
2. 知らなかった	28.6%	42.5%	43.9%
無回答	2.3%	1.5%	1.3%

問4 あなたは次の言葉を知っていますか。（○はいくつでも）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 警戒宣言	30.9%	73.1%	72.8%
2. 東海地震予知情報	13.1%	52.2%	52.2%
3. 東海地震注意情報	13.7%	45.5%	44.3%
4. 東海地震に関連する調査情報	9.1%	24.6%	21.9%
5. 大規模地震対策特別措置法	27.4%	34.3%	35.1%
6. 南海トラフ地震に関連する情報	73.1%	64.9%	71.1%
7. 東海地震	57.7%	91.8%	91.7%
8. 東南海地震	59.4%	75.4%	68.4%
9. 南海地震	90.3%	67.2%	65.4%
10. 震度	97.1%	95.5%	96.9%
11. マグニチュード	94.9%	96.3%	97.8%
12. 緊急地震速報	96.0%	94.0%	96.1%
無回答	1.1%	1.5%	0.4%

B. 居住地域ではない地域側（静岡市の方は南海地震のエリア、高知市の方は東海地震のエリア）で大地震が発生した場合（ケース1）についてお伺いします。

ここに南海トラフ地震の説明図を提示（本文図 4.2.1 参照のこと）

■ケース1（問5～問8-1は、下記の状況になったと仮定してご回答ください。）

あなたの居住地域ではない地域側（静岡市の方は南海地震のエリア、高知市の方は東海地震のエリア）で大地震が発生し、震源に近い地域では、揺れや津波により、多くの死者・行方不明者・家屋被害が発生しています。自衛隊や警察、消防が人命救出活動を行っています。鉄道や高速道路なども損壊したため、運休や通行止めになっています。そして、それらがテレビを通じて刻々と報じられています。しかし、あなたの居住地では、被害は発生しておらず、電気、水道などは問題なく使えています。

問5 あなたの居住地域に大津波警報が出された場合、あなたは、居住地域に被害がない場合でも、自宅を離れて避難すると思いますか。（〇は1つ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 避難すると思う	62.9%	64.2%	36.0%
2. 避難しないと思う	34.9%	35.8%	62.7%
無回答	2.3%	-	1.3%

問6 もし、地震が発生し、緊急地震速報、大津波警報など地震や津波に関する情報を得て、すぐに避難をすることになった場合、あなたはどこに避難しますか。（〇は1つ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 緊急避難場所や高台	65.7%	64.9%	38.2%
2. 祖父母、父母、子どもなどの家	1.7%	0.7%	1.3%
3. 親戚の家	-	0.7%	-
4. 知人・友人の家	-	-	-
5. 指定された避難所	19.4%	25.4%	50.4%
6. ホテル・旅館	-	1.5%	-
7. 車中泊	0.6%	0.7%	1.8%
8. その他	3.4%	3.0%	2.6%
9. わからない	2.3%	1.5%	3.1%
無回答	6.9%	1.5%	2.6%

問7 南海トラフの東側（もしくは西側）のみで地震が発生した場合、被害を受けていない地域においても、地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されることとなります。居住地域に被害がない場合でも、あなたは、自宅を離れて避難すると思いますか。（〇は1つ）

1. 避難すると思う	2. 避難しないと思う	無回答
高知市 48.0%	高知市 48.0%	高知市 4.0%
静岡市清水区 47.0%	静岡市清水区 53.0%	静岡市清水区 -
静岡市葵区 29.4%	静岡市葵区 69.7%	静岡市葵区 0.9%

【問7で回答した選択肢の矢印に沿って、
回答選択肢を選んでください】

問7-1 その理由はなぜですか。(○はいくつでも)

※「1. 避難すると思う」

	高知市 (n=84)	静岡市清水区 (n=63)	静岡市葵区 (n=67)
1. 情報の信頼性が高いから	40.5%	31.7%	26.9%
2. 被害が大きい場合を考えて	54.8%	60.3%	64.2%
3. 住んでいる地域や自宅の安全性を考えて	60.7%	58.7%	38.8%
4. 地震が発生してからでは間に合わないから	66.7%	55.6%	65.7%
5. 要配慮者や高齢者がいるから	22.6%	23.8%	9.0%
6. 子どもがいるから	10.7%	12.7%	16.4%
7. 自分や家族の仕事や学校を考えて	8.3%	7.9%	3.0%
8. 避難所・避難先の方が安心できるから	46.4%	44.4%	29.9%
9. 自宅にいるのが不安だから	45.2%	41.3%	31.3%
10. すでに地震が発生しているの	34.5%	28.6%	19.4%
11. その他 ()	2.4%	1.6%	4.5%
無回答	-	1.6%	7.5%

※「2. 避難しないと思う」

	高知市 (n=84)	静岡市清水区 (n=71)	静岡市葵区 (n=159)
1. 情報の信頼性が低いから	13.1%	18.3%	8.8%
2. 確率が低いから	19.0%	21.1%	13.2%
3. 住んでいる地域や自宅の安全性を考えて	19.0%	25.4%	57.2%
4. 地震が発生してからでも間に合うから	21.4%	12.7%	8.8%
5. 要配慮者や高齢者がいるから	15.5%	19.7%	15.7%
6. 子どもがいるから	2.4%	2.8%	9.4%
7. 自分や家族の仕事や学校を考えて	13.1%	18.3%	20.1%
8. 避難所・避難先での生活が不安だから	46.4%	39.4%	41.5%
9. 自宅や地域を離れるのが不安だから	15.5%	29.6%	28.3%
10. まだ自分の地域では地震が起きていないので	47.6%	40.8%	30.8%
11. その他 ()	6.0%	4.2%	4.4%
無回答	2.4%	4.2%	0.6%

【全員にお伺いします】

問8 もし仮に、自分の居住地に地震が起きる前に、長期に避難をすることになった場合、あなたはどこに避難しますか。(○は1つ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 祖父母、父母、子どもなどの家	20.0%	22.4%	17.5%
2. 親戚の家	4.6%	11.9%	3.1%
3. 知人・友人の家	1.1%	2.2%	0.9%
4. 指定された避難所	45.1%	31.3%	48.2%
5. ホテル・旅館	1.1%	0.7%	1.3%
6. 車中泊	2.3%	5.2%	3.5%
7. その他 ()	1.7%	1.5%	1.3%
8. わからない	19.4%	22.4%	22.8%
無回答	4.6%	2.2%	1.3%

【問8で1～7を回答した方のみ】

問8-1 それは具体的にどこですか。可能な限りで構いませんので、ご記入ください。

	都・道・府・県		市・区・町・村		番地以降
--	---------	--	---------	--	------

※省略

C. 南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生した時（ケース2）についてお伺いします。

■ケース2（問9～問18は、下記の状況になったと仮定してご回答ください。）

南海トラフ沿い（2ページの図をご参照ください）でマグニチュード7程度の地震が発生した時（ただし、とくに大きな被害は出ていないとします）、その後さらに巨大な地震が南海トラフ全域で発生する可能性があります。そのため、巨大地震が発生する可能性は平常時と比べて相対的に高まったとして、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されることとなります。

【全員にお伺いします】

問9 あなたにとって、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されたときに避難するかどうかの判断基準として、下記のことは重要ですか。（○はそれぞれ1つ）

		1	2	3	4	
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
(A) 政府からの情報の発信	高知県	64.0%	16.6%	9.1%	1.7%	8.6%
	静岡市清水区	77.6%	12.7%	3.7%	0.7%	5.2%
	静岡市葵区	72.4%	17.5%	4.8%	2.6%	2.6%
(B) 気象庁からの情報の発信	高知県	82.9%	12.0%	0.6%	-	4.6%
	静岡市清水区	81.3%	12.7%	1.5%	-	4.5%
	静岡市葵区	84.6%	12.3%	-	0.4%	2.6%
(C) 市町村からの情報の発信	高知県	80.6%	13.1%	2.3%	0.6%	3.4%
	静岡市清水区	77.6%	14.2%	4.5%	0.7%	3.0%
	静岡市葵区	78.9%	16.2%	1.8%	0.9%	2.2%
(D) 周囲の人の避難の状況	高知県	41.7%	33.7%	13.1%	1.7%	9.7%
	静岡市清水区	32.1%	33.6%	18.7%	7.5%	8.2%
	静岡市葵区	31.1%	45.6%	15.4%	5.3%	2.6%
(E) 仕事の状況（職場が休みになるかどうか、取り引き先の状況など）	高知県	16.6%	16.0%	25.7%	23.4%	18.3%
	静岡市清水区	29.1%	20.1%	20.1%	20.9%	9.7%
	静岡市葵区	21.9%	24.1%	21.1%	24.1%	8.8%
(F) 家族の学校や保育園・幼稚園などの状況	高知県	31.4%	16.0%	17.7%	18.3%	16.6%
	静岡市清水区	26.9%	17.2%	20.9%	23.1%	11.9%
	静岡市葵区	22.8%	25.0%	18.0%	25.0%	9.2%
(G) 病院・デイケア施設などの状況	高知県	31.4%	27.4%	16.0%	12.6%	12.6%
	静岡市清水区	27.6%	20.9%	27.6%	14.2%	9.7%
	静岡市葵区	28.1%	31.6%	18.0%	15.8%	6.6%
(H) 食料の供給の状況	高知県	61.7%	21.1%	6.9%	1.7%	8.6%
	静岡市清水区	54.5%	27.6%	6.0%	4.5%	7.5%
	静岡市葵区	61.4%	27.2%	4.8%	2.6%	3.9%
(I) 銀行、ガソリンの供給の状況	高知県	32.6%	32.0%	17.1%	6.9%	11.4%
	静岡市清水区	30.6%	37.3%	16.4%	6.7%	9.0%
	静岡市葵区	35.5%	34.2%	20.2%	6.6%	3.5%
(J) 避難場所の状況（どんな所へ避難するか）	高知県	72.0%	18.9%	0.6%	1.1%	7.4%
	静岡市清水区	73.9%	14.2%	4.5%	0.7%	6.7%
	静岡市葵区	72.4%	21.5%	2.6%	-	3.5%

問 10 あなたにとって、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表されたときに、避難するかどうかを考える上で、何を重視しますか。（○はそれぞれ1つ）

		1	2	3	4	
		重視する	やや重視する	あまり重視しない	重視しない	無回答
(A)	高知県	94.9%	-	-	0.6%	4.6%
	静岡市清水区	92.5%	6.0%	0.7%	-	0.7%
	静岡市葵区	93.4%	2.2%	1.3%	0.4%	2.6%
(B)	高知県	32.0%	29.7%	22.9%	5.1%	10.3%
	静岡市清水区	35.1%	35.8%	18.7%	2.2%	8.2%
	静岡市葵区	34.6%	36.4%	18.4%	5.3%	5.3%
(C)	高知県	43.4%	30.9%	13.7%	3.4%	8.6%
	静岡市清水区	41.0%	36.6%	13.4%	1.5%	7.5%
	静岡市葵区	46.9%	36.4%	11.0%	1.8%	3.9%
(D)	高知県	49.7%	29.1%	7.4%	3.4%	10.3%
	静岡市清水区	44.8%	29.9%	11.2%	6.7%	7.5%
	静岡市葵区	44.3%	34.6%	7.9%	6.1%	7.0%
(E)	高知県	42.9%	27.4%	16.6%	4.6%	8.6%
	静岡市清水区	29.9%	36.6%	21.6%	4.5%	7.5%
	静岡市葵区	43.0%	28.9%	18.4%	5.3%	4.4%
(F)	高知県	22.9%	28.6%	29.7%	8.0%	10.9%
	静岡市清水区	18.7%	32.8%	32.8%	9.0%	6.7%
	静岡市葵区	21.1%	36.4%	28.5%	9.6%	4.4%
(G)	高知県	59.4%	20.0%	9.7%	4.0%	6.9%
	静岡市清水区	50.0%	31.3%	11.2%	0.7%	6.7%
	静岡市葵区	59.6%	27.2%	7.9%	1.3%	3.9%

問 11 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、あなたは、自宅を離れて避難すると思いますか。下記のケースごとに、お答えください。（○はそれぞれ1つ）

			1	2	
			避難する と思う	避難しない と思う	無回答
(A)	気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけるが、市が「自主避難の呼びかけ」や、「避難勧告」を出したりしない場合	高知県	21.1%	74.3%	4.6%
		静岡市清水区	19.4%	76.9%	3.7%
		静岡市葵区	11.0%	84.6%	4.4%
(B)	気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、「自主避難」の呼びかけをおこなう場合	高知県	48.6%	46.3%	5.1%
		静岡市清水区	52.2%	43.3%	4.5%
		静岡市葵区	43.4%	52.2%	4.4%
(C)	気象庁が大地震の起こる可能性が平常時より高くなったと呼びかけ、市が、「避難勧告」を出す場合	高知県	82.3%	14.9%	2.9%
		静岡市清水区	79.9%	16.4%	3.7%
		静岡市葵区	79.4%	17.5%	3.1%

問 12 では、様々な場合を考えて、南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生し（ただし大きな被害はまだ出ていない）、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、居住地域に被害がない場合でも、あなたは自宅を離れて避難すると思いますか（○は1つ）

1. 避難すると思う		2. 避難しないと思う		無回答	
高知市	58.9%	高知市	38.9%	高知市	2.3%
静岡市清水区	49.3%	静岡市清水区	49.3%	静岡市清水区	1.5%
静岡市葵区	35.1%	静岡市葵区	63.6%	静岡市葵区	1.3%

【問 12 で回答した選択肢の矢印に沿って、
回答選択肢を選んでください】

問 12-1 その理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

※「1. 避難すると思う」

	高知市 (n=103)	静岡市清水区 (n=66)	静岡市葵区 (n=80)
1. 情報の信頼性が高いから	47.6%	36.4%	48.8%
2. 被害が大きい場合を考えて	71.8%	69.7%	75.0%
3. 住んでいる地域や自宅の安全性を考えて	64.1%	57.6%	40.0%
4. 地震が発生してからでは間に合わないから	68.0%	65.2%	65.0%
5. 要配慮者や高齢者がいるから	26.2%	15.2%	13.8%
6. 子どもがいるから	11.7%	12.1%	22.5%
7. 自分や家族の仕事や学校を考えて	7.8%	7.6%	5.0%
8. 避難所・避難先の方が安心できるから	51.5%	31.8%	50.0%
9. 自宅にいるのが不安だから	57.3%	50.0%	43.8%
10. すでに地震が発生しているの	37.9%	40.9%	28.8%
11. その他 ()	2.9%	-	2.5%
無回答	-	1.5%	-

※「2. 避難しないと思う」

	高知市 (n=68)	静岡市清水区 (n=66)	静岡市葵区 (n=145)
1. 情報の信頼性が低いから	10.3%	19.7%	10.3%
2. 確率が低いから	16.2%	28.8%	10.3%
3. 住んでいる地域や自宅の安全性を考えて	20.6%	31.8%	62.1%
4. 地震が発生してからでも間に合うから	22.1%	13.6%	10.3%
5. 要配慮者や高齢者がいるから	16.2%	27.3%	17.2%
6. 子どもがいるから	4.4%	7.6%	7.6%
7. 自分や家族の仕事や学校を考えて	14.7%	27.3%	21.4%
8. 避難所・避難先での生活が不安だから	64.7%	42.4%	46.9%
9. 自宅や地域を離れるのが不安だから	25.0%	42.4%	40.7%
10. まだ自分の地域では地震が起きていないので	35.3%	47.0%	24.1%
11. その他 ()	7.4%	7.6%	4.8%
無回答	-	1.5%	1.4%

【全員にお伺いします】

問 13 南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生し(ただし大きな被害はまだ出ていない)、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」が発表された場合、もし仮に、避難するとしたら、あなたはどこに避難しますか。(〇は1つ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 祖父母、父母、子どもなどの家	13.1%	14.2%	12.3%
2. 親戚の家	5.1%	9.0%	2.6%
3. 知人・友人の家	0.6%	1.5%	0.4%
4. 指定された避難所	62.9%	46.3%	60.5%
5. ホテル・旅館	0.6%	0.7%	1.8%
6. 車中泊	2.3%	3.0%	3.9%
7. その他 ()	3.4%	3.7%	1.8%
8. わからない	10.3%	19.4%	16.2%
無回答	1.7%	2.2%	0.4%

【問 13 で 1～7 を回答した方のみ】

問 13-1 それは具体的にどこですか。可能な限りで構いませんので、ご記入ください。

	都・道・府・県		市・区・町・村	番地以降
--	---------	--	---------	------

※省略

問 13-2 そこまでの避難の手段は何ですか。(○はいくつでも)

	高知市 (n=154)	静岡市清水区 (n=105)	静岡市葵区 (n=190)
1. 飛行機	-	-	3.2%
2. 新幹線	-	6.7%	10.0%
3. 自家用車・タクシー	46.8%	47.6%	29.5%
4. 電車・バス	1.9%	9.5%	8.9%
5. 原付・バイク	3.9%	6.7%	2.6%
6. 自転車・徒歩	58.4%	66.7%	72.1%
7. その他 ()	3.2%	1.0%	1.6%
8. わからない	4.5%	1.9%	2.1%
無回答	3.9%	1.9%	1.1%

【全員にお伺いします】

問 14 南海トラフ沿いでマグニチュード7程度の地震が発生し(ただし大きな被害はまだ出ていない)、さらに大きな地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高まったとして「南海トラフ地震に関連する情報(臨時)」が発表された場合、もし仮に、避難するとしたら、あなたはどの程度の期間なら避難を続けられると思いますか。(○は1つ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区		高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 1日	5.1%	3.0%	2.6%	11. 2週間程度	3.4%	10.4%	5.3%
2. 2日	6.9%	6.0%	4.8%	12. 3週間程度	-	-	0.9%
3. 3日	26.3%	22.4%	23.2%	13. 1か月程度	1.1%	6.0%	5.3%
4. 4日	1.7%	1.5%	2.2%	14. 2か月程度	-	0.7%	0.4%
5. 5日	6.3%	8.2%	4.4%	15. 3か月程度	0.6%	1.5%	0.9%
6. 6日	1.1%	0.7%	0.9%	16. その他 ()	1.7%	1.5%	0.9%
7. 7日	19.4%	17.9%	21.9%	17. わからない	20.6%	13.4%	17.5%
8. 8日	-	-	-	無回答	2.3%	2.2%	1.8%
9. 9日	-	-	-				
10. 10日	3.4%	4.5%	7.0%				

問 15 では、南海トラフ地震の発生確率が「10%程度」と言われたら、避難を続けますか。(○は1つ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 避難を続けると思う	13.1%	16.4%	7.9%
2. 自宅に戻ると思う	84.6%	82.1%	90.8%
無回答	2.3%	1.5%	1.3%

問 16 では、南海トラフ地震の発生確率が「2%程度」と言われたら、避難を続けますか。(○は1つ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 避難を続けると思う	5.1%	6.0%	1.3%
2. 自宅に戻ると思う	93.1%	93.3%	97.8%
無回答	1.7%	0.7%	0.9%

問 17 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、様々なことが発生すると思います。

問 17-1 もし仮に、次のような状況の場合、あなたは避難する（避難を継続する）と思いますか。

（○はそれぞれ1つ）

			1 避難する (避難を継続する) と思う	2 避難しない (避難を継続しない) と思う	無回答
(A)	周囲の多くの人 が避難してい る場合	高知県	84.6%	11.4%	4.0%
		静岡市清水区	79.1%	17.2%	3.7%
		静岡市葵区	76.8%	21.1%	2.2%
(B)	自分や家族の 仕事が休みに なった場合	高知県	40.6%	34.9%	24.6%
		静岡市清水区	56.7%	29.9%	13.4%
		静岡市葵区	43.4%	45.6%	11.0%
(C)	自分や家族の 通う学校や周 囲の学校が休 みになった場 合	高知県	37.7%	37.7%	24.6%
		静岡市清水区	48.5%	38.1%	13.4%
		静岡市葵区	40.4%	46.9%	12.7%
(D)	近くの病院・ デイケア施設 などが閉鎖す ることになっ た場合	高知県	48.6%	30.9%	20.6%
		静岡市清水区	55.2%	31.3%	13.4%
		静岡市葵区	47.4%	42.5%	10.1%
(E)	食料の確保な どに関して不 安がない場合	高知県	40.0%	45.7%	14.3%
		静岡市清水区	39.6%	53.0%	7.5%
		静岡市葵区	28.5%	65.4%	6.1%
(F)	銀行・商店が 営業をやめた り、ガソリン の入手が難し くったりして 、生活が難し くなるような 場合	高知県	65.7%	18.9%	15.4%
		静岡市清水区	67.9%	22.4%	9.7%
		静岡市葵区	68.0%	24.6%	7.5%

問 17-2 では、もし仮に、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」に対する世の中の反応が、以下のようにあまり大したことがない場合は避難する（避難を継続する）と思いますか。（○はそれぞれ1つ）

			1 避難する (避難を継続する) と思う	2 避難しない (避難を継続しない) と思う	無回答
(A)	周囲の多くの人 が避難してい ない場合	高知県	12.0%	81.1%	6.9%
		静岡市清水区	13.4%	81.3%	5.2%
		静岡市葵区	6.1%	92.1%	1.8%
(B)	自分や家族の 仕事が休みで はない場合	高知県	5.1%	73.7%	21.1%
		静岡市清水区	9.0%	76.9%	14.2%
		静岡市葵区	3.1%	86.8%	10.1%
(C)	自分や家族の 通う学校や周 囲の学校が休 みではない場 合	高知県	5.1%	74.9%	20.0%
		静岡市清水区	8.2%	76.9%	14.9%
		静岡市葵区	2.6%	86.8%	10.5%
(D)	近くの病院・ デイケア施設 などが閉鎖し ていない場合	高知県	6.9%	74.9%	18.3%
		静岡市清水区	8.2%	79.1%	12.7%
		静岡市葵区	3.9%	87.7%	8.3%
(E)	食料などが十 分手に入る 場合	高知県	7.4%	81.1%	11.4%
		静岡市清水区	11.9%	81.3%	6.7%
		静岡市葵区	5.3%	89.9%	4.8%
(F)	銀行・商店の 営業、ガソリ ンの供給など 、生活面に問 題がない場合	高知県	6.9%	80.0%	13.1%
		静岡市清水区	11.2%	78.4%	10.4%
		静岡市葵区	4.8%	88.2%	7.0%

問 18 仮に避難をして、その後地震が発生しないまま、ある程度時間がたった場合、あなたが避難をやるかどうかを判断する基準として、下記のことは重要ですか。(○はそれぞれ1つ)

		1 重要である	2 やや 重要である	3 あまり 重要ではない	4 重要 ではない	無回答	
(A)	政府からの情報の発信	高知県	61.7%	17.1%	9.1%	3.4%	8.6%
		静岡市清水区	73.1%	13.4%	5.2%	1.5%	6.7%
		静岡市葵区	66.2%	23.7%	3.5%	2.6%	3.9%
(B)	気象庁からの情報の発信	高知県	76.6%	12.6%	2.3%	2.3%	6.3%
		静岡市清水区	75.4%	14.9%	3.0%	0.7%	6.0%
		静岡市葵区	78.5%	15.4%	1.3%	1.3%	3.5%
(C)	市町村からの情報の発信	高知県	73.1%	15.4%	3.4%	1.7%	6.3%
		静岡市清水区	70.9%	17.2%	4.5%	0.7%	6.7%
		静岡市葵区	75.0%	17.1%	2.2%	1.8%	3.9%
(D)	周囲の人の避難の状況	高知県	34.9%	33.1%	18.3%	5.1%	8.6%
		静岡市清水区	25.4%	38.8%	21.6%	6.7%	7.5%
		静岡市葵区	29.4%	37.3%	25.0%	4.8%	3.5%
(E)	仕事の状況(職場が休みになるかどうか、取り引き先の状況など)	高知県	17.1%	24.6%	23.4%	17.1%	17.7%
		静岡市清水区	24.6%	26.9%	25.4%	9.7%	13.4%
		静岡市葵区	20.6%	26.3%	30.3%	12.7%	10.1%
(F)	学校や保育園・幼稚園などの状況	高知県	19.4%	21.7%	22.3%	18.3%	18.3%
		静岡市清水区	14.2%	26.9%	32.1%	14.9%	11.9%
		静岡市葵区	15.4%	24.1%	29.4%	20.6%	10.5%
(G)	病院・デイケア施設などの状況	高知県	21.7%	28.0%	21.1%	14.3%	14.9%
		静岡市清水区	23.9%	28.4%	28.4%	10.4%	9.0%
		静岡市葵区	24.1%	32.0%	25.4%	11.8%	6.6%
(H)	食料の状況	高知県	56.0%	26.9%	6.3%	2.9%	8.0%
		静岡市清水区	49.3%	31.3%	6.0%	5.2%	8.2%
		静岡市葵区	57.5%	32.9%	5.3%	0.9%	3.5%
(I)	銀行・商店の営業、ガソリンなど物資の供給状況	高知県	40.6%	32.0%	11.4%	5.7%	10.3%
		静岡市清水区	38.8%	38.1%	11.9%	3.0%	8.2%
		静岡市葵区	43.9%	36.0%	13.6%	2.6%	3.9%

D.地震が発生した後についてお伺いします。

問 19 もし、地震が発生して被害に遭われて、家に住めなくなり、長期的に避難せざるを得なくなった場合、まず避難するとしたらあなたはどこに避難しますか。(○はひとつ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 祖父母、父母、子どもなどの家	18.9%	17.9%	22.4%
2. 親戚の家	9.7%	13.4%	5.3%
3. 知人・友人の家	1.1%	0.7%	0.9%
4. 指定された避難所	41.7%	41.8%	47.8%
5. ホテル・旅館	1.7%	1.5%	1.3%
6. 車中泊	4.0%	1.5%	2.6%
7. その他 ()	3.4%	3.0%	3.1%
8. わからない	15.4%	18.7%	14.9%
無回答	4.0%	1.5%	1.8%

【問 19 で 1～7 を回答した方のみ】

問 19-1 それは具体的にどこですか。可能な限りで構いませんので、ご記入ください（先の設問と重なっていても構いません）。

	都・道・府・県		市・区・町・村	番地以降
--	---------	--	---------	------

※省略

問 19-2 そこまでの避難の手段は何ですか。（○はいくつでも）

	高知市 (n=141)	静岡市清水区 (n=107)	静岡市葵区 (n=190)
1. 飛行機	2.8%	-	4.7%
2. 新幹線	2.1%	8.4%	16.3%
3. 自家用車・タクシー	53.9%	46.7%	32.1%
4. 電車・バス	6.4%	10.3%	13.2%
5. 原付・バイク	6.4%	6.5%	3.2%
6. 自転車・徒歩	53.2%	57.0%	63.2%
7. その他（ ）	1.4%	0.9%	1.6%
8. わからない	7.1%	5.6%	2.6%
無回答	2.8%	2.8%	1.6%

E.物資や備蓄、そのほかの防災対策についてお伺いします。

【全員にお伺いします】

問 20 ご自宅では、現在、備蓄を行っていますか。（○はいくつでも）

また、1、2を選んだ方は、その備蓄は、何日分くらいあると思いますか。（具体的な数字）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 災害に備えて水・食料の備蓄はある⇒ （ ）日分くらい	33.7% (平均：3.8日)	53.0% (平均：3.9日)	60.1% (平均：4.7日)
2. 災害に備えているわけではないが、冷蔵庫等に水・食料の備蓄はある⇒ （ ）日分くらい	44.6% (平均：4.1日)	47.8% (平均：3.6日)	45.6% (平均：4.2日)
3. 備蓄を行っていない	32.6%	20.9%	15.4%
無回答	3.4%	1.5%	0.4%

問 21 もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、追加で水や食料の購入を行うと思いますか。（○はひとつ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で、水・食料の購入をと思う ⇒（ ）日分程度）	77.7% (平均：5.8日)	82.1% (平均：5.5日)	87.7% (平均：6.3日)
2. 追加で、水・食料の購入はしないと思う	18.3%	15.7%	9.6%
無回答	4.0%	2.2%	2.6%

では、より詳細にお伺いします。

問 22 現在、下記のものは何日分くらい家にありますか。(○はそれぞれ1つ)

また、**1を選んだ方は**、その備蓄は、何日分くらいあると思いますか。(具体的な数字)

(1) 米やパンなどの主食

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	78.3% (平均：14.2 日)	85.1% (平均：10.9 日)	86.4% (平均：9.6 日)
2. ない	10.3%	13.4%	11.0%
無回答	11.4%	1.5%	2.6%

(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	72.6% (平均：3.8 日)	70.9% (平均：2.8 日)	71.5% (平均：3.6 日)
2. ない	18.9%	25.4%	25.9%
無回答	8.6%	3.7%	2.6%

(3) インスタント食品・冷凍食品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	79.4% (平均：5.1 日)	82.1% (平均：4.1 日)	84.6% (平均：4.4 日)
2. ない	12.0%	14.9%	13.2%
無回答	8.6%	3.0%	2.2%

(4) 非常食

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	40.6% (平均：4.5 日)	60.4% (平均：3.7 日)	63.2% (平均：3.9 日)
2. ない	47.4%	35.8%	32.9%
無回答	12.0%	3.7%	3.9%

(5) ティッシュやトイレットペーパーなどの日用品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	84.0% (平均：17.4 日)	93.3% (平均：14.9 日)	94.3% (平均：14.6 日)
2. ない	6.3%	5.2%	3.1%
無回答	9.7%	1.5%	2.6%

(6) 飲料水

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. () 日分くらいある	70.3% (平均：5.2 日)	80.6% (平均：5.7 日)	84.2% (平均：6.0 日)
2. ない	19.4%	17.9%	12.7%
無回答	10.3%	1.5%	3.1%

問 23 もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、下記のことを、新たに又は追加で購入すると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

また、**1を選んだ方は**、何日分くらい購入すると思いますか。(具体的な数字)

(1) 米やパンなどの主食

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする () 日分程度	50.9% (平均：9.2 日)	68.7% (平均：7.1 日)	67.1% (平均：8.6 日)
2. 追加で購入しない	40.6%	25.4%	28.1%
無回答	8.6%	6.0%	4.8%

(2) 肉・魚・野菜など生鮮食品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする（ ）日分程度	45.1% (平均：5.4日)	54.5% (平均：4.4日)	52.6% (平均：4.7日)
2. 追加で購入しない	44.6%	39.6%	42.5%
無回答	10.3%	6.0%	4.8%

(3) インスタント食品・冷凍食品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする（ ）日分程度	77.7% (平均：8.3日)	78.4% (平均：7.6日)	80.7% (平均：7.7日)
2. 追加で購入しない	13.7%	17.2%	14.5%
無回答	8.6%	4.5%	4.8%

(4) 非常食

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする（ ）日分程度	66.9% (平均：7.6日)	72.4% (平均：7.4日)	79.4% (平均：7.8日)
2. 追加で購入しない	23.4%	20.9%	16.2%
無回答	9.7%	6.7%	4.4%

(5) ティッシュやトイレットペーパーなどの日用品

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする（ ）日分程度	45.1% (平均：13.4日)	57.5% (平均：10.1日)	53.9% (平均：10.9日)
2. 追加で購入しない	45.7%	37.3%	40.8%
無回答	9.1%	5.2%	5.3%

(6) 水

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 追加で購入をする（ ）日分程度	75.4% (平均：9.0日)	79.1% (平均：7.8日)	85.1% (平均：8.7日)
2. 追加で購入しない	17.1%	16.4%	11.0%
無回答	7.4%	4.5%	3.9%

問 24 現在、下記のものをご自宅にありますか。(○はいくつでも)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 軽油・灯油	34.9%	19.4%	16.7%
2. 懐中電灯	93.7%	95.5%	93.4%
3. ラジオ	79.4%	76.9%	80.3%
4. 救急医療品（ばんそうこう、包帯など）	82.9%	87.3%	89.5%
5. カセットコンロなど調理器具	70.3%	69.4%	65.8%
6. 使い捨てカイロなど防寒用品	57.1%	53.7%	62.7%
7. 充電器	40.0%	53.0%	53.9%
8. その他防災グッズ	36.6%	41.8%	45.2%
無回答	3.4%	0.7%	1.3%

問 25 もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、下記のものを、新たに又は追加で購入しますか。（○はいくつでも）

※なお、すでに自宅にあったとしても、追加で購入する場合は、購入するとお答えください。

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 軽油・灯油	13.1%	16.4%	11.4%
2. 懐中電灯	16.6%	13.4%	11.0%
3. ラジオ	12.6%	10.4%	9.2%
4. 救急医療品（ばんそうこう、包帯など）	21.1%	20.1%	19.3%
カセットコンロなど調理器具	25.7%	24.6%	30.3%
6. 使い捨てカイロなど防寒用品	24.6%	26.1%	28.5%
7. 充電器	19.4%	18.7%	14.9%
8. その他防災グッズ	44.6%	41.0%	41.2%
無回答	27.4%	26.1%	20.2%

問 26（1）ご自宅に、車はありますか。（○は1つ）

また、**1を選んだ方は**、何台かお答えください。（具体的な数字）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. ある ⇒（ 台）	89.1%	84.3%	84.6%
	（平均：2.0台）	（平均：1.7台）	（平均：1.5台）
2. ない	8.6%	14.9%	14.9%
無回答	2.3%	0.7%	0.4%

【問 26（1）で「1. ある」を回答した方のみ】

（2）もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、避難などに備えてガソリンを満タンにすると思いますか。（○はひとつ）

	高知市 (n=156)	静岡市清水区 (n=113)	静岡市葵区 (n=193)
1. ガソリンを満タンにする	67.3%	70.8%	70.5%
2. そのような行動は特に考えていない	32.1%	28.3%	29.0%
無回答	0.6%	0.9%	0.5%

【全員にお伺いします】

問 27 家具の固定についてお伺いします。

（1）ご自宅では、主要な家具を固定していますか。（○はひとつ）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. ほとんどの家具は固定している	8.0%	19.4%	22.4%
2. いくつか家具は固定している	35.4%	44.8%	46.9%
3. 固定していない	54.9%	34.3%	29.8%
無回答	1.7%	1.5%	0.9%

【問 27（1）で「2. いくつか家具は固定している」又は「3. 固定していない」を回答した方のみ】

（2）もし、「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合、主要な家具を固定しますか。

（○はひとつ）

	高知市 (n=158)	静岡市清水区 (n=106)	静岡市葵区 (n=175)
1. ほとんどの家具を固定する	22.8%	28.3%	28.6%
2. いくつかの家具を固定する	37.3%	39.6%	35.4%
3. 現状のまま	34.8%	32.1%	33.1%
無回答	5.1%	-	2.9%

【全員にお伺いします】

問 28 避難場所と避難経路についておうかがいします。

(1) あなたのお宅では避難場所や避難経路の確認をしていますか。(○はひとつ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 避難場所や避難経路の確認をしている	85.7%	82.8%	70.2%
2. 避難場所や避難経路の確認はしていない	12.0%	16.4%	28.5%
無回答	2.3%	0.7%	1.3%

【問 28 (1) で「2. 避難場所や避難経路の確認はしていない」を回答した方のみ】

(2) もし、「南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)」が発表された場合には、避難場所や避難経路を確認しますか。(○はひとつ)

	高知市 (n=21)	静岡市清水区 (n=22)	静岡市葵区 (n=65)
1. 避難場所や避難経路の確認をすと思う	81.0%	90.9%	84.6%
2. 避難場所や避難経路の確認はしないと思う	19.0%	9.1%	15.4%
無回答	-	-	-

F. 南海トラフ地震に関連する、あなたのお考えについてお伺いします。

【全員にお伺いします】

問 29 「南海トラフ地震に関連する情報 (臨時)」について、あなたのお考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 長期的に今いる地域を離れることを検討する	10.3%	17.9%	11.8%
2. どうせ被害をうけるから、積極的な対策はとらない	26.3%	14.9%	12.3%
3. 地域の中で生活が営めなくなるのではないかと思う	40.6%	38.8%	22.4%
4. 「地震が発生する可能性がある」とはいつても、その発生確率が分からないと判断しにくい	40.6%	48.5%	55.7%
5. 「避難するかしないかは自己責任で考えろ」というのは間違っていると思う	20.6%	13.4%	13.2%
6. 確率が低い情報は出さないでほしい	15.4%	15.7%	15.4%
7. 命にかかわる情報なので、どんな情報も提供してほしい	54.3%	56.0%	56.6%
8. 「空振り」しても構わないので、南海トラフ地震に関連する情報は適宜、公表してほしい	66.9%	70.1%	68.4%
9. その他 ()	1.1%	3.0%	2.2%
無回答	3.4%	4.5%	2.6%

問 30 ご自宅の状況についてお伺いします。

避難を考える上で、下記のことについて、どう思いますか。(○はそれぞれひとつ)

(1) 自宅の耐震性に対する問題

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 問題がある	37.1%	22.4%	14.0%
2. やや問題がある	31.4%	30.6%	24.1%
3. あまり問題はない	20.6%	29.1%	44.3%
4. 問題はない	8.0%	14.2%	15.8%
無回答	2.9%	3.7%	1.8%

(2) 自宅またはその周辺の津波に対する危険

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 問題がある	72.0%	78.4%	0.9%
2. やや問題がある	16.6%	11.2%	5.7%
3. あまり問題はない	5.7%	7.5%	44.3%
4. 問題はない	1.7%	-	46.9%
無回答	4.0%	3.0%	2.2%

(3) 自宅周辺の延焼火災に対する不安

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 問題がある	30.9%	32.1%	23.7%
2. やや問題がある	33.7%	40.3%	49.1%
3. あまり問題はない	24.0%	20.9%	21.5%
4. 問題はない	8.0%	2.2%	3.9%
無回答	3.4%	4.5%	1.8%

(4) 自宅またはその周辺の土砂崩れ・がけ崩れに対する危険

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 問題がある	26.3%	1.5%	0.9%
2. やや問題がある	25.1%	4.5%	1.8%
3. あまり問題はない	26.9%	26.9%	27.6%
4. 問題はない	18.3%	61.9%	67.5%
無回答	3.4%	5.2%	2.2%

問 31 南海トラフ地震で被災した場合、不安に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 水・食料の不足	83.4%	70.1%	81.1%
2. 地震で被災すること	68.0%	59.0%	73.7%
3. 津波で被災すること	81.7%	83.6%	13.2%
4. 長期間、自宅が浸水すること	38.9%	50.0%	11.0%
5. 土砂崩れ	30.3%	4.5%	2.6%
6. 火災	29.1%	40.3%	65.4%
7. 液状化	26.3%	42.5%	41.2%
8. 停電	73.7%	72.4%	85.1%
9. ガスが使えない	44.0%	56.0%	65.4%
10. 水道が使えない	81.1%	82.1%	92.5%
11. インターネットが使えない	16.0%	23.1%	33.3%
12. 医療	48.6%	52.2%	56.6%
13. 介護	17.7%	14.9%	17.5%
14. 鉄道が動かない	1.1%	13.4%	10.1%
15. 救援物資が届かない	49.7%	47.0%	50.0%
16. お金がかかる	40.6%	44.0%	36.0%
17. 行政サービスのストップ	24.0%	27.6%	28.9%
18. 帰宅困難	38.3%	41.0%	33.8%
無回答	2.9%	3.7%	1.3%

F. あなたご自身についてお伺いします。

【全員にお伺いします】

F 1 あなたの性別を教えてください。

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 男性	54.3%	54.5%	49.1%
2. 女性	42.9%	41.8%	49.1%
無回答	2.9%	3.7%	1.8%

F 2 あなたの年齢を教えてください。

満 _____ 歳 (平均：高知市 63.5 歳 静岡市清水区 60.2 歳 静岡市葵区 58.5 歳)

F 3 あなたの職業を教えてください。(〇はひとつ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 正規の職員・従業員	20.6%	29.1%	33.3%
2. 派遣社員	-	1.5%	0.9%
3. パート・アルバイト(契約社員・嘱託を含む)	12.6%	14.2%	11.4%
4. 会社などの役員無回答	6.9%	7.5%	3.5%
5. 自営業主(自由業を含む)	6.3%	8.2%	7.0%
6. 農林水産漁業者	6.3%	-	0.9%
7. 無職(主婦・主夫を含む)	41.1%	31.3%	39.0%
8. 学生	0.6%	0.7%	-
9. その他()	2.3%	1.5%	1.8%
無回答	3.4%	6.0%	2.2%

F4 現在、あなた又はあなたのご家族は、次の状況に当てはまりますか。(○はいくつでも)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 要支援者がいる	13.7%	9.0%	8.8%
2. 65歳以上の高齢者がいる	50.9%	43.3%	36.8%
3. 12歳以下の子どもがいる	9.1%	13.4%	16.2%
4. 65歳以上の高齢者のみの世帯である	24.0%	20.1%	19.3%
5. 単身世帯である	12.6%	18.7%	16.2%
6. 当てはまる者はいない無回答	14.3%	16.4%	18.0%
無回答	4.0%	4.5%	3.1%

F5 ご自宅の郵便番号を教えてください。

	—	
--	---	--

※省略

F6 あなたのお住まいの住宅は、耐震性がありますか。(○はひとつ)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 耐震基準を満たしている (1981年7月以降に建設された建物、または耐震補強済みの建物に住んでいる)	35.4%	51.5%	65.4%
2. 耐震基準を満たしていない	44.0%	25.4%	18.4%
3. わからない	16.6%	17.9%	13.6%
無回答	4.0%	5.2%	2.6%

F7 あなたのご自宅のある場所には、地震発生後、津波は早い場合どのくらいの時間で到達すると思いますか。(○はひとつ)

1を選んだ方は、想定される時間について、お答えください。(具体的な数字)

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. ()分程度	80.0%	80.6%	2.6%
	(平均: 169分)	(平均: 84分)	(平均: 292分)
2. 自宅の場所に津波はやってこない	4.6%	3.7%	71.5%
3. わからない	11.4%	11.9%	23.2%
無回答	4.0%	3.7%	2.6%

F8 現在、南海トラフ地震などの地震や津波に備えて実施している防災対策はありますか（〇はいくつでも）

	高知市	静岡市清水区	静岡市葵区
1. 水・食料の備蓄	36.0%	56.7%	63.2%
2. 寝室に大きな家具を置かないようにしている	43.4%	50.0%	58.3%
3. ガラス飛散防止をしている	8.0%	14.2%	14.5%
4. 棚の上に重いものを置かないようにしている	30.9%	30.6%	39.0%
5. 火気器具のまわりを整理するようにしている	14.9%	20.1%	23.2%
6. 石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものにしている	26.9%	33.6%	19.7%
7. 普段から風呂に水をためるようにしている	20.0%	17.9%	16.7%
8. 消火器を用意している	33.7%	32.1%	37.3%
9. 割れたガラスから保護するためにスリッパ・運動靴などを用意している	31.4%	32.8%	36.4%
10. 災害時の家族の行動や役割を話しあっている	14.3%	17.9%	11.4%
11. 地震の時に避難する場所を決めている	59.4%	61.9%	46.1%
12. 家族が離ればなれになった時に落ち合う場所を決めている	13.1%	21.6%	25.4%
13. 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている	4.0%	5.2%	8.3%
14. 感震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	7.4%	10.4%	11.8%
15. 外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	8.6%	15.7%	11.4%
16. ブロック塀などの安全性を点検している	9.1%	3.7%	14.5%
17. その他（ ）	4.6%	2.2%	3.1%
18. 特に何もしていない	11.4%	7.5%	7.5%
無回答	6.3%	4.5%	4.4%

■ 最後に、政府や自治体の南海トラフ地震の対策、南海トラフ地震の関連する情報について、あなたのご意見・ご要望など、ご自由にご記載ください。